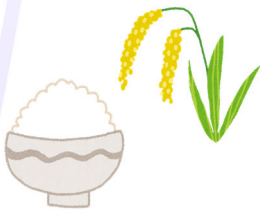
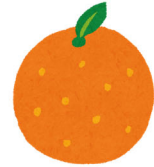


宇和島市地域公共交通計画



2024年3月

宇和島市

目 次

1. はじめに	1
1.1. 計画策定の目的.....	1
1.2. 計画の対象区域.....	1
1.3. 計画の位置づけ.....	2
1.4. 計画の対象期間.....	2
2. 地域公共交通ネットワーク形成にあたっての問題点と課題	3
2.1. 宇和島市における公共交通の役割.....	3
2.2. 現状・問題点の整理.....	3
2.3. 課題の整理.....	4
3. 地域公共交通計画の基本的な方針と目標	6
3.1. 基本理念.....	6
3.2. 公共交通ネットワークの方向性と補助路線の状況.....	6
3.3. 基本方針.....	10
3.4. 計画の目標.....	11
4. 計画に位置づける事業とその実施主体等	15
4.1. 計画に位置づける事業の体系.....	15
4.2. 事業の内容.....	16
4.3. 事業のスケジュール.....	31
4.4. 事業の進捗管理.....	32
5. 宇和島市の現況	33
5.1. 人口.....	33
5.2. 主な施設の分布.....	35
5.3. 観光の状況.....	35
5.4. 財政の状況.....	36
5.5. 運転免許証の返納者.....	36
6. 宇和島市が目指すまちづくりの方向性	37
6.1. 第2次宇和島市総合計画.....	37
6.2. 第2期まち・ひと・しごと創生 宇和島市総合戦略.....	37
6.3. 宇和島市都市計画マスタープラン.....	37
6.4. 宇和島市立地適正化計画.....	38
6.5. 宇和島市 DX 推進計画.....	39
6.6. 愛媛県地域公共交通網形成計画.....	39
6.7. 愛媛県南予地域公共交通利便増進実施計画.....	39

7. 宇和島市の公共交通の現状	40
7.1. 現状の交通体系.....	40
7.2. 公共交通の圏域と人口分布.....	40
7.3. 交通結節点の概況.....	41
7.4. 陸上交通の概況.....	42
7.5. 海上交通の概況.....	49
8. 公共交通に関するニーズ調査	50
8.1. 市民ニーズ等の把握.....	50
8.1.1. 調査概要.....	50
8.1.2. 調査結果概要.....	50
8.2. 関係者ヒアリング調査.....	52
8.2.1. 調査概要.....	52
8.2.2. 調査結果概要.....	52

用語解説

1. はじめに

1.1. 計画策定の目的

宇和島市では合併前自治体がそれぞれ独自に実施していた交通施策を見直し、人口減少と地域集落の高齢化に対応するため、2009年3月に「宇和島市地域公共交通総合連携計画」を策定し、市営コミュニティバスの路線見直しやデマンド便（※1）の追加、公共交通空白地帯へのデマンドタクシー（※2）の導入などを行ってきました。

しかしながら、地域の人口減少はその後にも急速に進行し、公共交通機関においてはやむを得ずさらなる路線の統廃合や減便などの措置をとらなくてはならない状況となっています。

公共交通は市民の「生活の質」を維持し、まちをより持続可能にしていくために必須のものであり、普段公共交通を使わず自家用車を利用されている方々にも公共交通を使って頂き、その重要性を認識して頂く必要があります。

そのためには、宇和島市の上位計画や関連計画を踏まえた人口減少・高齢化を見据えたまちづくりを進めることに加え、これらの計画と連携して持続可能な公共交通ネットワークを形成するとともに、市民の方々にも公共交通について考えて頂けるような取組を進めていく必要があると考えています。

そこで宇和島市では、市民・事業者・行政が協働して持続可能な公共交通ネットワークを確立することを目的とした交通計画として、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、2019年7月に策定した「宇和島市地域公共交通網形成計画」を見直し、今回、「宇和島市地域公共交通計画」（以降、本計画）を策定します。

1.2. 計画の対象区域

本計画の対象区域は宇和島市全域とします。

なお、本計画では、公共交通に関する様々な分析にあたり、生活圏（※3）などを踏まえ、旧4市町の区分けに従い、宇和島地区（旧宇和島市）、吉田地区（旧吉田町）、三間地区（旧三間町）、津島地区（旧津島町）に分類しています。

※1～3：巻末の用語解説参照

1.3. 計画の位置づけ

本計画は、本市のまちづくりの最上位計画となる「第2次宇和島市総合計画」や、人口対策・地方創生の観点で「第2期まち・ひと・しごと創生 宇和島市総合戦略」の方針を反映させることとします。

また、県が策定した「愛媛県地域公共交通網形成計画」や都市計画部門の計画である「宇和島市都市計画マスタープラン」や「宇和島市立地適正化計画」、「宇和島市DX（※4）推進計画」をはじめとした関連計画と連携を図りながら策定するものです。

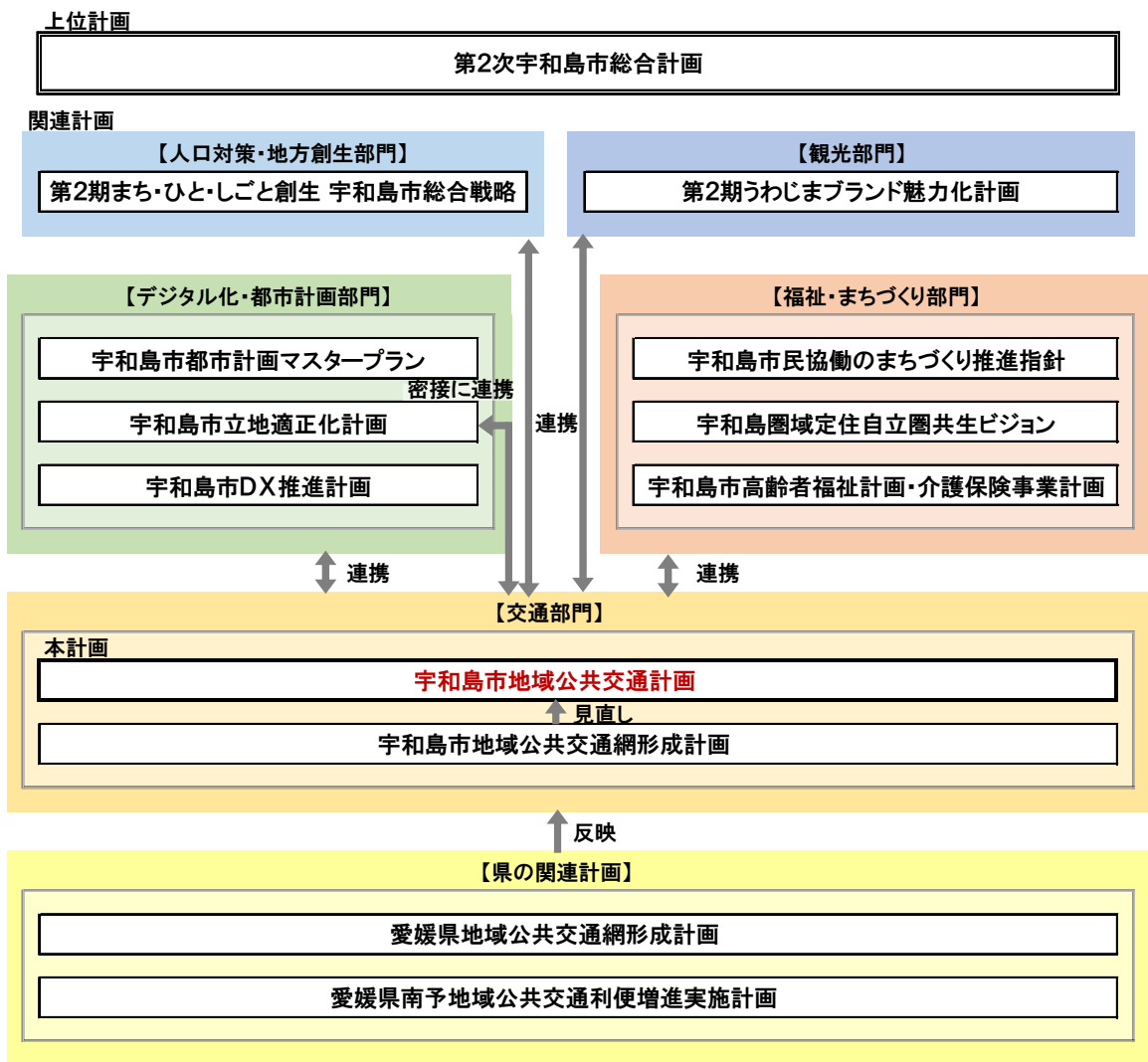


図 1 上位・関連計画と本計画の関係

1.4. 計画の対象期間

本計画の対象期間は、2024年度から2028年度までの5年間とします。

※4：巻末の用語解説参照

2. 地域公共交通ネットワーク形成にあたっての問題点と課題

2.1. 宇和島市における公共交通の役割

宇和島市における公共交通の果たすべき役割は、以下の4つに整理されます。

- ① 安全・安心な移動により暮らしを支える
- ② 医療・福祉・教育等のさまざまな分野を結ぶ
- ③ 多様な主体が協働し、地域を支えるまちづくりに寄与する
- ④ 市内外の人々の交流を促進し、地域活性化に寄与する

2.2. 現状・問題点の整理

本市における公共交通が抱える問題点を整理すると、以下のとおりになります。

問題点① 高齢化や人口減少の更なる進展

- コロナ禍の影響もあるが、利用者の減少に歯止めがかかっていない。
- 路線バスで通学している小学生が、乗れない場合や座れないケースが発生している。
- バス停までが遠く買い物の帰りは荷物を持って歩けないなど、高齢者がバスを利用するうえで問題がある。

問題点② 利用者の移動ニーズに合致していない

- 日常移動や通勤通学などで利用したい曜日や時間にバスが運行されていない。
- 夕方から夜間は運行間隔が広く、便数が少ない。
- 市内周遊や市城南側へのバス移動は、観光客だけでなく、市民にも乗継が分かりにくい。

問題点③ 地域の変化に合わせ、市民も含めた関係者の連携が不十分

- 「コンパクト・プラス・ネットワーク（※5）」となる効率的な公共交通ネットワークの形成がまだ不十分である。
- バス路線では一部重複路線が残るなど、更なる効率化が必要である。

問題点④ 公共交通の乗継などが分かりにくく、利用しづらい

- 公共交通の乗継に関する情報発信が弱い。
- 交通結節点（※6）以外の通学で毎日使われる学校近くのバス停は、上屋がなく雨の日に待ちにくい。
- インバウンドに対応したバス停のナンバリングや、路線の色分けなど分かりやすさが不十分である。

問題点⑤ 担い手不足により、サービス低下の可能性

- 交通事業者は、全体的なネットワークを維持するため、重複路線や利用者の少ない路線の見直しなど、集約化を図りたい。

※5～6：巻末の用語解説参照

- サービスの維持に必要な運転士や機関士が不足しているが、2024年4月1日からは働き方改革関連法により時間外労働の上限が適用される（以降、2024年問題）ことから、更なる人手不足が懸念される。
- キャッシュレス決済などのデジタル化への対応について、限定した路線及び運賃のみの対応に留まっている。

2.3. 課題の整理

宇和島市において地域公共交通が果たすべき役割と宇和島市の公共交通の現状、問題点などを踏まえ、地域公共交通ネットワークの形成にあたっての課題を次のように設定します。

課題1 市民・観光客等の移動実態に応じた公共交通ネットワークの見直し

現在の路線ネットワークでは、利用者の移動ニーズに十分に対応しきれておらず、経由地も複雑で分かりにくいことから、観光客のみならず地域住民から見ても分かりにくい路線ネットワークとなっています。現状の沿線環境や移動ニーズをきちんと把握し、効果的・効率的な公共交通ネットワークへと再構築する必要があります。

四国旅客鉄道のJR予讃線・JR予土線、宇和島自動車の路線バスなど、他自治体と広域に接続している路線については、愛媛県や各自自治体と連携してその改善策を検討する必要があります。

課題2 公共交通の分かりやすさと使いやすさの向上

宇和島市では、鉄道や高速バス、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、タクシー、海上交通という様々な交通モード（※7）が提供されていますが、市全域を網羅した公共交通マップが作成されていないなど、地域住民にも観光客にも分かりやすい情報を提供できるよう検討していく必要があります。また、公共交通がより身近なものと感じられるよう使いやすさについても、情報を発信していく必要があります。

課題3 多面的かつ効果的な公共交通利用促進施策の推進

公共交通を維持していくためには、普段マイカーを運転している方々にも、少しでも使って頂くことが必要となります。そこで、地域住民の方々に公共交通の利便性をアピールするとともに、様々な場面で公共交通を使って頂けるよう、多面的かつ効果的な利用促進施策を構築する必要があります。

課題4 地域や行政が主体となって公共交通を支える仕組みづくり

公共交通を持続可能にしていくためには、公共交通事業者それぞれ単独の取組だけでは不十分であり、地域や行政とも協力していく必要があります。

現在、戸島地区で実証運行が行われている地域でのNPO法人等による自家用有償旅客運送事業（※8）など、地域住民等と連携した公共交通の担い手確保に向けた取組を強化していく必要があります。

※7～8：巻末の用語解説参照

課題5 公共交通の担い手確保の強化

2024年問題を受け、宇和島市のみならず、日本全国でバス・タクシー等の運転士不足が大きな問題となっており、採算が取れない路線については廃止や減便の検討をせざるを得ない状況となっています。

そこで、交通事業者からの募集の他、市における地域の移動手段を確保するための支援が必要になってきています。

また、新技術や新たなサービスの効果的な導入により、業務プロセスの効率化や地域の移動利便性の向上を図り、サービスの維持・向上を目指す必要があります。

以上を踏まえ、現状や問題点と課題の関係を整理すると、以下のとおりになります。

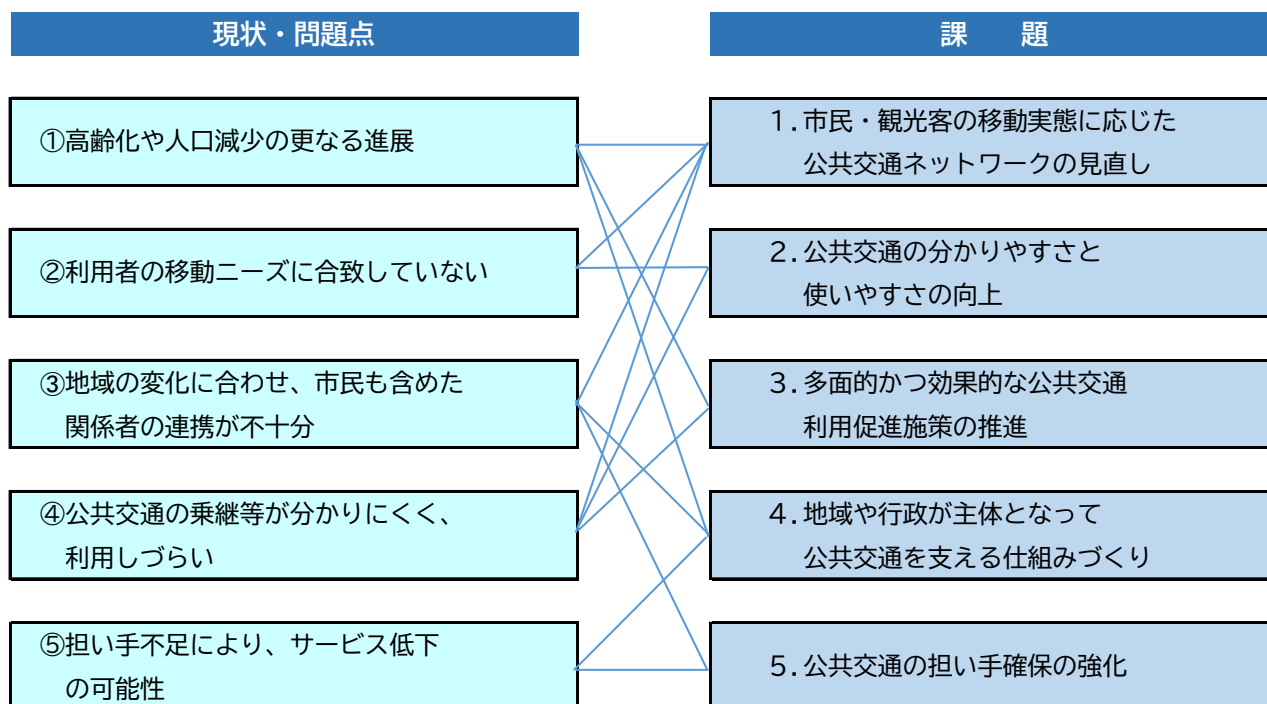


図 2 問題点と課題の関係整理

3. 地域公共交通計画の基本的な方針と目標

3.1. 基本理念

本計画の5章、7～8章で後述する地域や公共交通の現状、市民の意向等を踏まえ、利用しやすく持続可能な公共交通ネットワーク形成のために、本計画の基本理念を次のとおり定めます。

基本理念

拠点間の移動を支える、効率的で持続可能な公共交通ネットワークの形成

3.2. 公共交通ネットワークの方向性と補助路線の状況

(1) 公共交通ネットワークの方向性

本計画において、交通結節点の位置づけ、鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、タクシー、海上交通といったそれぞれの交通手段が果たすべき役割等を明確にするため、上位・関連計画における方向性や公共交通の利用実態等を踏まえ、本市の公共交通ネットワークの方向性を次のとおり定めます。

表 1 交通結節点の位置づけと方向性

分類	位置づけ	該当する場所等	将来の方向性
広域交通結節点	本市において中心的な場所にあり、幹線同士あるいは幹線・支線の乗継が可能な場所	・ JR 宇和島駅 ・ 宇和島バスセンター	・ 幹線同士、あるいは幹線・支線の円滑な乗継が可能となるよう整備を行う。 ・ タクシーや自家用車、自転車との連携についても考慮する。
主要交通結節点	各エリアにおいて中心的な場所にあり、幹線・支線の乗継が可能な場所	・ 道の駅みま ・ 岩松出張所 ・ 吉田出張所	・ 幹線・支線の円滑な乗継が可能となるよう整備を行う。 ・ タクシーや自家用車、自転車との連携についても考慮する。
乗継拠点	幹線・支線の乗継が可能な場所	・ 道の駅きさいや広場／宇和島新内港駅 ・ 吉田支所 ・ JR 伊予宮野下駅／A コープ三間 ・ JR 務田駅	・ 幹線・支線の円滑な乗継が可能となるよう整備を行う。 ・ タクシーや自家用車、自転車との連携についても考慮する。

表 2 各交通手段の役割分担の方向性

分類	役割	対象交通手段	将来の方向性
都市間 幹線	周辺都市 との連絡	◇鉄道 ・ JR 予讃線（下宇和～松山） ・ JR 予土線（深田～若井） ◇高速バス ・ ウワジマエクスプレス（宇和島・城辺～神戸・大阪） ◇路線バス ・ 松山線（宇和島～松山・道後・宿毛・城辺～宇和島）	・ 周辺都市との交流・連携を強化するため、必要なサービス水準を検討し、維持・確保に努める。 ・ 近隣自治体との広域連携を考慮する。 ・ 速達性、定時性、輸送力を中心にサービスを考える。
地域間 幹線	市内拠点 間の連絡	◇鉄道 ・ JR 予讃線（宇和島～立間） ・ JR 予土線（北宇和島～大内） ◇路線バス ・ 鬼北線 ・ 岩松支線（津島福浦～岩松・吉田・立間線のうち、岩松～立間） ・ 吉田支線 ・ 三浦半島線（宇和島～三浦～下波（狩津）～遊子・蔦淵線のうち、きさいや広場～蔦淵）	・ 市内における拠点間の連携を強化するため、必要なサービス水準を検討し、維持・確保に努める。 ・ 都市間幹線や支線との円滑な乗継に可能な限り配慮する。 ・ 速達性、定時性、輸送力を中心にサービスを考える。
支線	周辺地域 から各拠 点や交通 結節点と の連絡	◇路線バス ・ 岩松支線（津島福浦～岩松・吉田・立間線のうち、津島福浦～岩松、吉田～船間／岩松～脇～嵐線） ・ 三浦半島線（宇和島～三浦～下波（狩津）～遊子・蔦淵線のうち、下波東～水産試験場前／宇和島～石応～蕨・平浦線／宇和島～本九島線） ・ 宇和島市内線 ◇コミュニティバス、デマンドタクシー ◇海上交通	・ 各エリア内における市民の生活を支えるため、必要なサービス水準を検討し、維持・確保に努める。 ・ 都市間幹線や地域間幹線との円滑な乗継に可能な限り配慮する。 ・ 持続性・柔軟性を中心にサービスを考える。

(2) 補助路線の状況

宇和島市では、通勤・通学・買物・通院等を目的とした移動に不可欠な公共交通ネットワークを確保・維持するため、これら路線について国（幹線補助・フィーダー補助）や県（幹線補助）から支援を受けつつ、運行の維持・継続を図っていきます。

a) 定時定路線型の補助

定時定路線型の16系統のうち、7系統を幹線補助路線、9系統をフィーダー補助路線に位置づけます。

表 3 定時定路線型の幹線補助路線とフィーダー補助路線の状況（2023年度）

運行形態	運行系統	起点	経由地	終点	実施主体	補助事業の活用
定時定路線型 (16系統)	宇和島駅前～城辺線	宇和島駅前	市立病院	城辺	宇和島自動車	幹線補助
	宇和島駅前～宿毛線	宇和島駅前	市立病院	宿毛	宇和島自動車	幹線補助
	東高校前～虹の森公園前線	東高校前	北宇和病院・道の駅みま	虹の森公園前	宇和島自動車	幹線補助
	東高校前～野村病院線	東高校前	柿原ハイパス・北宇和病院	野村病院	宇和島自動車	幹線補助
	田之浜～天赦園線	田之浜	～	天赦園	宇和島自動車	幹線補助
	船間～天赦園線	船間	立目・知永・やすらぎの里	天赦園	宇和島自動車	幹線補助
	立間駅前～福浦線	立間駅前	バスセンター・南楽園	福浦	宇和島自動車	幹線補助
	大河内線	吉田駅	立間小学校	大河内	宇和島市 (運行委託:宇和島ハイヤー)	フィーダー補助
	大良線	吉田駅	吉田中学校	大良	宇和島市 (運行委託:宇和島ハイヤー)	フィーダー補助
	筋線	吉田駅	吉田中学校	筋	宇和島市 (運行委託:宇和島ハイヤー)	フィーダー補助
	筋線 (花組経由)	吉田駅	鳥首口	筋	宇和島市 (運行委託:宇和島ハイヤー)	フィーダー補助
	川之内線	道の駅みま	川之内	道の駅みま	宇和島市 (運行委託:三間タクシー)	フィーダー補助
	音地線	三間支所	音地集会所	宮野下駅前	宇和島市 (運行委託:三間タクシー)	フィーダー補助
	大藤線	道の駅みま	大藤集会所	もみの木前	宇和島市 (運行委託:三間タクシー)	フィーダー補助
	増田線	道の駅みま	増田集会所	三間支所	宇和島市 (運行委託:三間タクシー)	フィーダー補助
	きさいや広場～本九島線	きさいや広場	～	本九島	宇和島自動車	フィーダー補助

b) デマンド型の補助

デマンド型は、3系統（別当線・大河内線・川平線）をフィーダー補助路線に位置づけます。

表 4 デマンド型のフィーダー補助路線の状況（2023年度）

運行形態	運行系統	実施主体	補助事業の活用
デマンド型 (3系統)	別当線	宇和島市（運行委託:丸之内そうご）	フィーダー補助
	大河内線	宇和島市（運行委託:宇和島ハイヤー）	フィーダー補助
	川平線	宇和島市（運行委託:宇和島ハイヤー）	フィーダー補助

(3) 公共交通ネットワークの将来イメージ

各公共交通の役割分担等に基づき、まちづくりと連携した面的な公共交通ネットワークを形成するにあたって、目指すべき将来イメージは次のとおりです。



図 3 宇和島市の公共交通ネットワークの将来イメージ

3.3. 基本方針

本計画の第6章で後述する上位計画で示された将来像や基本理念を踏まえ、本市における公共交通の課題解決に向けた、本計画の基本方針（公共交通のあるべき姿）を以下のとおり設定します。

【基本方針1】市民や観光客等の移動を支える地域公共交通ネットワークの形成

現在の移動ニーズを踏まえ、市民や観光客等が使いやすい公共交通ネットワークを構築するとともに、公共交通のサービス内容などを分かりやすくすることで、身近な移動手段である公共交通を、誰でも利用しやすい環境の整備を図ります。

公共交通ネットワークの構築にあたっては、地域によって異なる地理的状況や人口構成、都市機能の分布状況に配慮しつつ、適切な受益者負担と効果的な財政支出により、持続可能なサービスを目指します。

【基本方針2】地域関係者が協力し、拠点間の移動を支える公共交通連携軸の構築

公共交通の利用者の方のご意見や利用状況、中長期的な人口構成や都市構造の変化など、地域の変化にあわせ、公共交通が持続可能になるよう、随時見直しを図っていくとともに、公共交通を地域で支えられるよう、関係者の役割分担と連携強化に向けた取組を実施します。

また、中心拠点や地域拠点と集落などを結ぶ公共交通を、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの都市構造の軸として、各種施策との連携を進めます。

3.4. 計画の目標

本計画の基本的な方針を実現するため、本計画期間中に達成すべき目標と評価指標及び目標値を次のとおり設定します。

【基本方針 1】 市民や観光客等の移動を支える地域公共交通ネットワークの形成

【目標 1-1】 公共交通の分かりやすさの向上					
事業：①、②、③、④					
1-1-1	評価指標	公共交通の分かりやすさの向上			
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の分かりやすさ向上に向けた取組を、現状よりも幅広く実施することを目標とし、乗り方教室、交通安全教室の開催回数を評価対象とする。(対象小学校の拡大や高齢者向け教室の追加) 計画期間中の毎年度末に市が実施状況を調査して取りまとめる。 			
	目標値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>現 状</td> <td>目 標</td> </tr> <tr> <td>1 回/年</td> <td>5 回/年</td> </tr> </table>	現 状	目 標	1 回/年
現 状	目 標				
1 回/年	5 回/年				
1-1-2	評価指標	公共交通の市民への浸透			
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の改善点として、分かりやすさが現状より向上することを目標とする。(時刻表・路線図等の情報提供に関する満足度のうち、「満足」「やや満足」と回答した人の割合を評価対象とする。) 計画期間中の最終年度に市が市民アンケートを実施し、経年変化を取りまとめる。 			
	目標値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>現 状</td> <td>目 標</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 路線バス：17.0% コミバス・デマンド：14.0% </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 路線バス：22.0%以上 コミバス・デマンド：19.0%以上 </td> </tr> </table>	現 状	目 標	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス：17.0% コミバス・デマンド：14.0%
現 状	目 標				
<ul style="list-style-type: none"> 路線バス：17.0% コミバス・デマンド：14.0% 	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス：22.0%以上 コミバス・デマンド：19.0%以上 				

注：「事業：①、②、③、④」は、後述する「4.計画に位置づける事業とその実施主体等」の事業番号を示す。

【目標 1-2】公共交通の使いやすさの向上					
		事業：⑤、⑥、⑦ * 1-2-3 (再掲) 事業：②、③、④			
1-2-1	評価指標	交通結節点・乗継拠点の維持、情報提供の取組			
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画で位置づけられている交通結節点・乗継拠点において、市全域の乗継時刻表の提供地点数を目標とする。(情報提供は、バス停での掲示(2地点)、二次元バーコードによる提供(9地点)等。) ・計画期間中の最終年度に市が実施状況を調査して取りまとめる。 			
	目標値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>現 状</th> <th>目 標</th> </tr> <tr> <td>0 地点</td> <td>11 地点</td> </tr> </table>	現 状	目 標	0 地点
現 状	目 標				
0 地点	11 地点				
1-2-2	評価指標	バス等の待合環境整備に向けた地域の取組			
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民自らの手で公共交通を使いやすくする機運を醸成するため、学校前等のバスの待合環境を整備・維持管理する取組に関する実施状況を目標とする。 ・計画期間の最終年度末に「宇和島市公共交通利用者便益施設整備事業費補助金」の申請状況を調査して取りまとめる。 			
	目標値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>現 状</th> <th>目 標</th> </tr> <tr> <td>0 件</td> <td>2 件</td> </tr> </table>	現 状	目 標	0 件
現 状	目 標				
0 件	2 件				
1-2-3	評価指標	観光客等の利便性の向上			
	目標値設定と計測方法	<p>[1-1-2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の改善点として、分かりやすさが現状より向上することを目標とする。(時刻表・路線図等の情報提供に関する満足度のうち、「満足」「やや満足」と回答した人の割合を評価対象とする。) <p>[1-2-1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画で位置づけられている交通結節点・乗継拠点において、市全域の乗継時刻表の提供地点数を目標とする。(情報提供は、バス停での掲示(2地点)、二次元バーコードによる提供(9地点)等。) ・計画期間中の最終年度に市が実施状況を調査して取りまとめる。 			
	目標値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>現 状</th> <th>目 標</th> </tr> <tr> <td> <p>[1-1-2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス：17.0% ・コミバス・デマンド：14.0% <p>[1-2-1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0 地点 </td> <td> <p>[1-1-2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス：22.0%以上 ・コミバス・デマンド：19.0%以上 <p>[1-2-1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 地点 </td> </tr> </table>	現 状	目 標	<p>[1-1-2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス：17.0% ・コミバス・デマンド：14.0% <p>[1-2-1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0 地点
現 状	目 標				
<p>[1-1-2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス：17.0% ・コミバス・デマンド：14.0% <p>[1-2-1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0 地点 	<p>[1-1-2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス：22.0%以上 ・コミバス・デマンド：19.0%以上 <p>[1-2-1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 地点 				

注：「事業：②、③、④、⑤、⑥、⑦」は、後述する「4.計画に位置づける事業とその実施主体等」の事業番号を示す。

【目標 1－3】公共交通の維持・利用促進					
事業：⑧、⑨、⑩					
1-3-1	評価指標	鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、海上交通の利用者数			
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・移動ニーズに合わせた交通ネットワークへの再編や利用促進策等を通じて、公共交通の利用者数を維持するため、鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、海上交通の利用者数の現状維持を目標とする。 ・計画期間中の毎年度末に事業者等より報告を受け、市が取りまとめる。 			
	目標値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>現 状</td> <td>目 標</td> </tr> <tr> <td>1,473 千人</td> <td>1,473 千人</td> </tr> </table>	現 状	目 標	1,473 千人
現 状	目 標				
1,473 千人	1,473 千人				
1-3-2	評価指標	収支率			
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の維持・存続を図るため、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、海上交通の運行収支率の現状維持を目標とする。 ・計画期間中の毎年度末に事業者等より報告を受け、市が取りまとめる。 			
	目標値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>現 状</td> <td>目 標</td> </tr> <tr> <td>31.4%</td> <td>31.4%</td> </tr> </table>	現 状	目 標	31.4%
現 状	目 標				
31.4%	31.4%				
1-3-3	評価指標	公的負担額			
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の維持・存続を図るため、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、海上交通の運行経費の公的負担額を抑制するため、現状維持を目標とする。 ・計画期間中の毎年度末に事業者等より報告を受け、市が取りまとめる。 			
	目標値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>現 状</td> <td>目 標</td> </tr> <tr> <td>272,494 千円</td> <td>272,494 千円</td> </tr> </table>	現 状	目 標	272,494 千円
現 状	目 標				
272,494 千円	272,494 千円				

注：「事業：⑧、⑨、⑩」は、後述する「4.計画に位置づける事業とその実施主体等」の事業番号を示す。

【基本方針 2】 地域関係者が協力し、拠点間の移動を支える公共交通連携軸の構築

【目標 2-1】 地域で支える仕組みの構築			事業：⑪、⑫
2-1-1	評価指標	地域モビリティ（※9）等の支援に関する取組	
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体で行う地域モビリティの取組地区数（実証運行含む）を目標とする。 ・計画期間の最終年度末に市が取組状況を調査して取りまとめる。 	
	目標値	現 状	目標値
		1 地区	3 地区
2-1-2	評価指標	公共交通の現状に関する広報の取組	
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を地域で支えるための前提として、対象地区の市民にコミュニティバスの利用状況を広く認知してもらうために、広報の取組状況を目標とする。（1 回以上取り組んだ広報の種類（WEB、施設へのチラシ配置等）を評価対象とする。） ・計画期間内の毎年度末に実施状況を市が調査して取りまとめる。 	
	目標値	現 状	目標値
		1 種類/年	3 種類/年
【目標 2-2】 地域公共交通の持続性の確保			事業：⑬、⑭、⑮
2-2-1	評価指標	関係者の連携に関する取組	
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を持続可能にするため、①運転士等の確保に向けた募集に係る実施件数（県連携、自動車教習所、高校等）、②公共交通（路線バス・コミバス等）のデジタル化（キャッシュレス支払い等）の整備件数を目標とする。 ・①は計画期間内の毎年度末に市が実施状況を調査して取りまとめる。 ・②は計画期間中の最終年度末に事業者等より報告を受け、市が取りまとめる。 	
	目標値	現 状	目標値
		① 1 件/年 ② 1 件	① 2 件/年 ② 5 件
2-2-2	評価指標	多様な移動手段の活用に関する取組	
	目標値設定と計測方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の輸送資源の有効活用を図るため、既存の輸送手段や送迎サービス等（福祉輸送、スクールバス、病院・商業施設等の送迎）の活用検討会議（①庁内・②庁外）の回数を目標とする。 ・計画期間の毎年度末に市が取組状況を調査して取りまとめる。 	
	目標値	現 状	目標値
		—	①庁内会議 1 回/年 ②庁外会議 1 回/年

注：「事業：⑪、⑫、⑬、⑭、⑮」は、後述する「4.計画に位置づける事業とその実施主体等」の事業番号を示す。

※9：巻末の用語解説参照

4. 計画に位置づける事業とその実施主体等

4.1. 計画に位置づける事業の体系

前章で掲げた目標を達成するため、次に示す事業を本計画に位置づけ、実施します。

表 5 計画の目標と評価指標、事業の関係性

目標	評価指標	事業
【1-1】 公共交通の 分かりやすさ の向上	[1-1-1] 公共交通の分かりやすさの向上	①乗り方教室、交通安全教室を通じた利用方法の周知 ②公共交通マップ、乗継時刻表の整備 ③路線の案内方法・情報発信方法の改善 ④イベント時等での公共交通に関する情報発信方法の検討
	[1-1-2] 公共交通の市民への浸透	
【1-2】 公共交通の 使いやすさの 向上	[1-2-1] 交通結節点・乗継拠点の維持、情報提供の取組	⑤交通結節点・乗継拠点の維持、乗継情報の充実
	[1-2-2] バス等の待合環境整備に向けた地域の取組	⑥地域でバス等の待合空間を整備・維持管理できる仕組みの構築 ⑦バリアフリー化への対応
	[1-2-3] 観光客等の利便性の向上	<再掲> ②公共交通マップ、乗継時刻表の整備 ③路線の案内方法・情報発信方法の改善 ④イベント時等での公共交通に関する情報発信方法の検討 ⑤交通結節点・乗継拠点の維持、乗継情報の充実
【1-3】 公共交通の 維持・利用促進	[1-3-1] 鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、海上交通の利用者数	⑧免許返納に向けた取組 ⑨バス等の路線網の再編、最適化 ⑩必要な路線等への支援体制の検討
	[1-3-2] 収支率	
	[1-3-3] 公的負担額	
【2-1】 地域で支える 仕組みの構築	[2-1-1] 地域モビリティ等の支援に関する取組	⑪地域主体で行う地域モビリティ等の取組を支援する仕組みの構築
	[2-1-2] 公共交通の現状に関する広報の取組	⑫公共交通の現状に関する広報の実施
【2-2】 地域公共交通 の持続性の 確保	[2-2-1] 関係者の連携に関する取組	⑬運転士等確保に向けた取組の実施 ⑭新たな技術やサービスに関する取組
	[2-2-2] 多様な移動手段の活用に関する取組	⑮市内輸送資源の有効活用の検討

4.2. 事業の内容

事業①	乗り方教室、交通安全教室を通じた利用方法の周知
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1校で、交通安全教室や乗り方教室を開催している。 ・路線バスやコミュニティバスを利用している小学校は13校である。 ・公共交通を利用しない理由として、「路線・時刻表等が分かりにくい」という意見が寄せられている。 ・免許返納者など、これまで路線バス等を利用してこなかった高齢者では、乗り方の分からない人が存在する。
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用が多い小学校や高齢者等への乗り方教室、交通安全教室を拡充する。 <div style="text-align: center;">  <p>鶴島小学校のバスの乗り方教室（宇和島自動車）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高齢者を対象にした交通安全バス教室（山口県防府市）</p> </div>
実施主体	<p>【企画・調整】：宇和島市 【実施】：宇和島自動車 【指導】：宇和島警察署 【協力】：小学校、連合自治会、老人クラブ連合会</p>
スケジュール	【企画・調整・実施】：2024年度～
備考	

事業② 公共交通マップ、乗継時刻表の整備

現状・問題点

- ・鉄道、高速バス、路線バス、コミュニティバス、海上交通の交通モードは地区別に整理されており、市域全体の情報が分かりにくい。
- ・観光客等からは、路線バスやコミュニティバスの乗り方や乗継が分かりにくいという意見が寄せられている。

事業の概要・実施イメージ

- ・市域全体情報を「改訂版公共交通マップ」としてとりまとめる。
- ・鉄道や高速バスから路線バス、コミュニティバス、海上交通等の乗継が想定される箇所における乗継時刻表を作成する。
- ・鉄道や高速バス、海上交通等は、自家用車（駐車場）や自転車からの乗継についても考慮する。
- ・主要な観光施設を公共交通で周遊する場合や、乗継の必要な施設への行き方について、乗継のモデルケースを作成し、ホームページ等へ掲載する。



公共交通マップイメージ (広島県江田島市)

バス時刻表

1 長瀬海岸線

2 長瀬海岸線→中町線→高田線方面行き

3 津久茂線

4 大橋→船美線

5 沖美線

江田島市 公共交通マップ

江田島市の情報をメールで配信しています。

江田島市では、公共交通、子育て、消防情報のメール配信サービスを提供しています。公共交通情報は、毎月1回の定例情報配信メールで受け取れます。お申し込みは、お住まいの地域を指定していただきます。お申し込みは、必ずお住まいの住所を明記し、利用規約を御覧ください。

江田島市の情報を検索できます

QRコード対応スマートフォンで、江田島市公共交通マップの検索が可能です。Googleマップで検索結果が表示されるようになります。江田島市を指定する地域を絞り込み、検索結果を絞り込むことができます。検索結果は、ぜひご利用ください。

実施主体

【企画】：宇和島市
【作成・広報】：宇和島市

スケジュール

【企画】：2024年度～
【作成・広報】：2025年度～

備考

- ・市民には、公共交通のマップの配布。
- ・転入者へは、転入時に公共交通のマップを配布。
- ・観光客等には、公共交通の情報をホームページで公開。

事業 ③	路線の案内方法・情報発信方法の改善																								
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、路線バス、コミュニティバス、海上交通の各交通モードについて、情報発信が不足しており、利用しにくい状況である。 ・観光客等が路線バスやコミュニティバスを利用するにあたり、行き先の地名や路線名だけでは分かりにくい状況である。 																								
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や観光客等の意見を踏まえた改善内容を検討する。 ・路線バスの各路線のイメージカラーやナンバリング、路線番号など、市民や観光客等にも分かりやすい表示方法を取り入れる。 ・公共交通の情報は、紙配布の他、ホームページ等に公開する。 <p>■実施にあたっての工夫点</p> <p>はりまや橋を中心とした主要なアルファベットのルート</p> <p>【はりまや橋交差点を起点に、系統番号を変化させて表示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知中央地域のバスは、郊外から中心部の「はりまや橋」交差点に向かって集まり、大きく21のルートに分けられアルファベットが振られている。 ・それぞれのルートには、英字を、更に終点停留所や経由地毎に数字1文字を振り分けることで、はりまや橋からの系統を「A1」や「K3」のように示している。 ・バスははりまや橋までに辿りつくまでのルートと、はりまや橋を通過してからのルートの2つのルートを使って運行しているため、時刻表や方向幕では「T3・Y3」のように表記し、どういう経路を通過してどこに行くのかを明示している。 <p>はりまや橋交差点の前後で、方向幕の表示が変わる</p> <p>南ニュータウンから、電車通りまでの間（Tルート区間を走っている時。ただし電車通りに入ると右図の表示が変わります。）</p> <p>電車通りから、はりまや橋交差点を経由して八田までの間（電車通りから、はりまや橋交差点を経由してYルートを走っている時）</p> <p>【停留所での統一化された情報提供】</p> <p>バス停には、そのバス停をバスが通過する時刻表があり、バスマップもある。目的地や通過時間のほかに、【行先番号】【経由】も表示している。</p> <p>バス停の時刻表</p> <p>バスマップ</p> <p>こうちバスマップ</p> <p>アルファベット+数字でナンバリング（高知県高知市・とさでん交通）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統番号</th> <th>方面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A, B, C, D</td> <td>稲越、川口、行川、みづほ坂、イオンモール高知、南庁前 など</td> </tr> <tr> <td>E, F</td> <td>イオンモール高知、入明、土佐山</td> </tr> <tr> <td>G, あ</td> <td>一宮、医大病院、南国オフィスパーク、トーマン、田井 など</td> </tr> <tr> <td>H, し, じ</td> <td>医大病院（大津）(B3経由) 備前、久枝、JA病院、安芸 など</td> </tr> <tr> <td>K</td> <td>瀬見台、高知工科大学、龍河町</td> </tr> <tr> <td>J, P</td> <td>種崎、高知医療センター、後免町 など</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>前浜</td> </tr> <tr> <td>S, T, な</td> <td>泉原、桂浜、みませ、横浜1-9丁、南1-10丁、平和団地 など</td> </tr> <tr> <td>U</td> <td>西予、六原寺 など</td> </tr> <tr> <td>V, W, X, Y</td> <td>高岡、宇佐、津城、天王NT、JAはるの、船岡、吉野、土佐船、ドラゴンバス</td> </tr> <tr> <td>Z, い</td> <td>伊野、土佐、長沢、柳瀬、舟山口 など</td> </tr> </tbody> </table>	系統番号	方面	A, B, C, D	稲越、川口、行川、みづほ坂、イオンモール高知、南庁前 など	E, F	イオンモール高知、入明、土佐山	G, あ	一宮、医大病院、南国オフィスパーク、トーマン、田井 など	H, し, じ	医大病院（大津）(B3経由) 備前、久枝、JA病院、安芸 など	K	瀬見台、高知工科大学、龍河町	J, P	種崎、高知医療センター、後免町 など	N	前浜	S, T, な	泉原、桂浜、みませ、横浜1-9丁、南1-10丁、平和団地 など	U	西予、六原寺 など	V, W, X, Y	高岡、宇佐、津城、天王NT、JAはるの、船岡、吉野、土佐船、ドラゴンバス	Z, い	伊野、土佐、長沢、柳瀬、舟山口 など
系統番号	方面																								
A, B, C, D	稲越、川口、行川、みづほ坂、イオンモール高知、南庁前 など																								
E, F	イオンモール高知、入明、土佐山																								
G, あ	一宮、医大病院、南国オフィスパーク、トーマン、田井 など																								
H, し, じ	医大病院（大津）(B3経由) 備前、久枝、JA病院、安芸 など																								
K	瀬見台、高知工科大学、龍河町																								
J, P	種崎、高知医療センター、後免町 など																								
N	前浜																								
S, T, な	泉原、桂浜、みませ、横浜1-9丁、南1-10丁、平和団地 など																								
U	西予、六原寺 など																								
V, W, X, Y	高岡、宇佐、津城、天王NT、JAはるの、船岡、吉野、土佐船、ドラゴンバス																								
Z, い	伊野、土佐、長沢、柳瀬、舟山口 など																								
実施主体	<p>【検討】：宇和島自動車</p> <p>【実施】：宇和島市、交通事業者</p>																								
スケジュール	【検討・実施】：2024年度～																								
備考	・観光客等には、公共交通の情報をホームページで公開。																								

事業④	イベント時等での公共交通に関する情報発信方法の検討																																																																																																																																																																											
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、高速バス、路線バス、コミュニティバス、海上交通の各交通モードについて、情報発信が不足しており、利用しにくい状況である。 ・観光客等が路線バスやコミュニティバスを利用するにあたり、情報がどこで得られるのか分かりにくい状況である。 																																																																																																																																																																											
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・主要なイベントでは、案内資料（チラシ、ホームページ等）に、公共交通での来場方法を掲載する。必要に応じて、多言語対応なども併せて行う。 ・利用者の多い施設等を回るバスのチラシ等の内容を検討し、紙配布とホームページで公開する。 <div style="text-align: center;"> <p>「町営バス循環線」 令和4年4月1日 改正</p> </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>町営バス循環線時刻表</caption> <thead> <tr> <th>乗降箇所</th> <th>1便</th> <th>2便</th> <th>3便</th> <th>4便</th> <th>5便</th> <th>6便</th> <th>7便</th> <th>8便</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北宇和病院前</td> <td>7:40</td> <td>9:15</td> <td>10:15</td> <td>11:15</td> <td>13:35</td> <td>14:38</td> <td>15:50</td> <td>17:25</td> </tr> <tr> <td>鬼北町役場前 (中央公民館)</td> <td>7:42</td> <td>9:17</td> <td>10:17</td> <td>11:17</td> <td>13:37</td> <td>14:40</td> <td>15:52</td> <td>17:27</td> </tr> <tr> <td>近永栄町</td> <td>7:44</td> <td>9:19</td> <td>10:19</td> <td>11:19</td> <td>13:39</td> <td>14:42</td> <td>15:54</td> <td>17:29</td> </tr> <tr> <td>伊予銀行前 (近永駅前)</td> <td>7:46</td> <td>9:21</td> <td>10:21</td> <td>11:21</td> <td>13:41</td> <td>14:44</td> <td>15:56</td> <td>17:31</td> </tr> <tr> <td>JR近永駅</td> <td>7:49</td> <td>9:24</td> <td>10:24</td> <td>11:24</td> <td>13:44</td> <td>14:47</td> <td>15:59</td> <td>17:34</td> </tr> <tr> <td>大野内科前</td> <td>7:51</td> <td>9:26</td> <td>10:26</td> <td>11:26</td> <td>13:46</td> <td>14:49</td> <td>16:01</td> <td>17:36</td> </tr> <tr> <td>フジ</td> <td>7:57</td> <td>9:32</td> <td>10:32</td> <td>11:32</td> <td>13:52</td> <td>14:55</td> <td>16:07</td> <td>17:42</td> </tr> <tr> <td>徳原医院前</td> <td>8:02</td> <td>9:37</td> <td>10:37</td> <td>11:37</td> <td>13:57</td> <td>15:00</td> <td>16:12</td> <td>17:47</td> </tr> <tr> <td>ドラッグセイムス</td> <td>8:04</td> <td>9:39</td> <td>10:39</td> <td>11:39</td> <td>13:59</td> <td>15:02</td> <td>16:14</td> <td>17:49</td> </tr> <tr> <td>ダイレックス</td> <td>8:07</td> <td>9:42</td> <td>10:42</td> <td>11:42</td> <td>14:02</td> <td>15:05</td> <td>16:17</td> <td>17:52</td> </tr> <tr> <td>いしむら整形外科前</td> <td>8:12</td> <td>9:47</td> <td>10:47</td> <td>11:47</td> <td>14:07</td> <td>15:10</td> <td>16:22</td> <td>17:57</td> </tr> <tr> <td>赤松酒店前</td> <td>8:16</td> <td>9:51</td> <td>10:51</td> <td>11:51</td> <td>14:11</td> <td>15:14</td> <td>16:26</td> <td>18:01</td> </tr> <tr> <td>森の三角ぼうし</td> <td>8:22</td> <td>9:57</td> <td>10:57</td> <td>11:57</td> <td>14:17</td> <td>15:20</td> <td>16:32</td> <td>18:07</td> </tr> <tr> <td>南愛媛病院</td> <td>8:28</td> <td>10:03</td> <td>11:03</td> <td>12:03</td> <td>14:23</td> <td>15:26</td> <td>16:38</td> <td>18:13</td> </tr> <tr> <td>出目駅</td> <td>8:31</td> <td>10:06</td> <td>11:06</td> <td>12:06</td> <td>14:26</td> <td>15:29</td> <td>16:41</td> <td>18:16</td> </tr> <tr> <td>えひめ南農協 鬼北広見支所前</td> <td>8:34</td> <td>10:09</td> <td>11:09</td> <td>12:09</td> <td>14:29</td> <td>15:32</td> <td>16:44</td> <td>18:19</td> </tr> <tr> <td>鬼北町役場前 (宇和島バス)</td> <td>8:37</td> <td>10:12</td> <td>11:12</td> <td>12:12</td> <td>14:32</td> <td>15:35</td> <td>16:47</td> <td>18:22</td> </tr> <tr> <td>北宇和病院前</td> <td>8:38</td> <td>10:13</td> <td>11:13</td> <td>12:13</td> <td>14:33</td> <td>15:36</td> <td>16:48</td> <td>18:23</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">循環バスのバス停と時刻表の分かりやすいチラシ（愛媛県鬼北町）</p>	乗降箇所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	北宇和病院前	7:40	9:15	10:15	11:15	13:35	14:38	15:50	17:25	鬼北町役場前 (中央公民館)	7:42	9:17	10:17	11:17	13:37	14:40	15:52	17:27	近永栄町	7:44	9:19	10:19	11:19	13:39	14:42	15:54	17:29	伊予銀行前 (近永駅前)	7:46	9:21	10:21	11:21	13:41	14:44	15:56	17:31	JR近永駅	7:49	9:24	10:24	11:24	13:44	14:47	15:59	17:34	大野内科前	7:51	9:26	10:26	11:26	13:46	14:49	16:01	17:36	フジ	7:57	9:32	10:32	11:32	13:52	14:55	16:07	17:42	徳原医院前	8:02	9:37	10:37	11:37	13:57	15:00	16:12	17:47	ドラッグセイムス	8:04	9:39	10:39	11:39	13:59	15:02	16:14	17:49	ダイレックス	8:07	9:42	10:42	11:42	14:02	15:05	16:17	17:52	いしむら整形外科前	8:12	9:47	10:47	11:47	14:07	15:10	16:22	17:57	赤松酒店前	8:16	9:51	10:51	11:51	14:11	15:14	16:26	18:01	森の三角ぼうし	8:22	9:57	10:57	11:57	14:17	15:20	16:32	18:07	南愛媛病院	8:28	10:03	11:03	12:03	14:23	15:26	16:38	18:13	出目駅	8:31	10:06	11:06	12:06	14:26	15:29	16:41	18:16	えひめ南農協 鬼北広見支所前	8:34	10:09	11:09	12:09	14:29	15:32	16:44	18:19	鬼北町役場前 (宇和島バス)	8:37	10:12	11:12	12:12	14:32	15:35	16:47	18:22	北宇和病院前	8:38	10:13	11:13	12:13	14:33	15:36	16:48	18:23
乗降箇所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便																																																																																																																																																																				
北宇和病院前	7:40	9:15	10:15	11:15	13:35	14:38	15:50	17:25																																																																																																																																																																				
鬼北町役場前 (中央公民館)	7:42	9:17	10:17	11:17	13:37	14:40	15:52	17:27																																																																																																																																																																				
近永栄町	7:44	9:19	10:19	11:19	13:39	14:42	15:54	17:29																																																																																																																																																																				
伊予銀行前 (近永駅前)	7:46	9:21	10:21	11:21	13:41	14:44	15:56	17:31																																																																																																																																																																				
JR近永駅	7:49	9:24	10:24	11:24	13:44	14:47	15:59	17:34																																																																																																																																																																				
大野内科前	7:51	9:26	10:26	11:26	13:46	14:49	16:01	17:36																																																																																																																																																																				
フジ	7:57	9:32	10:32	11:32	13:52	14:55	16:07	17:42																																																																																																																																																																				
徳原医院前	8:02	9:37	10:37	11:37	13:57	15:00	16:12	17:47																																																																																																																																																																				
ドラッグセイムス	8:04	9:39	10:39	11:39	13:59	15:02	16:14	17:49																																																																																																																																																																				
ダイレックス	8:07	9:42	10:42	11:42	14:02	15:05	16:17	17:52																																																																																																																																																																				
いしむら整形外科前	8:12	9:47	10:47	11:47	14:07	15:10	16:22	17:57																																																																																																																																																																				
赤松酒店前	8:16	9:51	10:51	11:51	14:11	15:14	16:26	18:01																																																																																																																																																																				
森の三角ぼうし	8:22	9:57	10:57	11:57	14:17	15:20	16:32	18:07																																																																																																																																																																				
南愛媛病院	8:28	10:03	11:03	12:03	14:23	15:26	16:38	18:13																																																																																																																																																																				
出目駅	8:31	10:06	11:06	12:06	14:26	15:29	16:41	18:16																																																																																																																																																																				
えひめ南農協 鬼北広見支所前	8:34	10:09	11:09	12:09	14:29	15:32	16:44	18:19																																																																																																																																																																				
鬼北町役場前 (宇和島バス)	8:37	10:12	11:12	12:12	14:32	15:35	16:47	18:22																																																																																																																																																																				
北宇和病院前	8:38	10:13	11:13	12:13	14:33	15:36	16:48	18:23																																																																																																																																																																				
実施主体	<p>【企画】：宇和島市、交通事業者 【実施】：宇和島市、交通事業者</p>																																																																																																																																																																											
スケジュール	<p>【企画】：2024年度～ 【実施】：2025年度～</p>																																																																																																																																																																											
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客等には、公共交通の情報をホームページで公開。 																																																																																																																																																																											

事業 ⑤ 交通結節点・乗継拠点の維持、乗継情報の充実

現状・問題点
 ・市民アンケートや観光客からの意見として、乗継がしにくく、使いづらいという意見が寄せられている。

・交通結節点、乗継拠点において、市全域の乗継時刻表の提供（紙配布・二次元バーコード表示）を行う。
 ・鉄道、高速バス、路線バス、コミュニティバス、海上交通等の異なる交通モードの乗継や、自転車（宇和島市自転車活用推進計画）や自家用車（駐車場）、タクシーとの連携も考慮する。

北ループ		601系統 1便・6便						601V系統 2便～5便(下松駅前経由)						
停留所名		1便	2便	3便	4便	5便	6便							
11 岸和田駅前		8:05	9:20	10:50	12:15	14:35	15:55	乗継先のループからの乗継ができます						
2 上野町東		8:11	9:26	10:56	12:21	14:41	16:01							
3 加守町2丁目		8:12	9:27	10:57	12:22	14:42	16:02							
4 香木若松町		8:14	9:29	10:59	12:24	14:44	16:04							
5 競輪場前		8:16	9:31	11:01	12:26	14:46	16:06							
6 府宮吉井住宅前		8:19	9:34	11:04	12:29	14:49	16:09							
7 中井町		8:20	9:35	11:05	12:30	14:50	16:10							
8 箕土路公園前		8:23	9:38	11:08	12:33	14:53	16:13							
9 下池田町		8:24	9:39	11:09	12:34	14:54	16:14							
10 小松聖町北(総合体育館)		8:28	9:43	11:13	12:38	14:58	16:18							
11 市民病院前		8:33	9:48	11:18	12:43	15:03	16:23							
12 下松駅前	↓	9:55	11:25	12:50	15:10	↓		同時刻後の南ループの乗継ができます						
13 下松(市民病院南)	↓	9:58	11:28	12:53	15:13	↓								
14 保健センター前		8:38	10:03	11:33	12:58	15:18	16:28							
15 港緑町(遠切ホール)		8:48	10:13	11:43	13:08	15:28	16:38							
16 市役所前		8:55	10:20	11:50	13:15	15:35	16:45							
11 岸和田駅前		9:03	10:28	11:58	13:23	15:43	16:53	南ループの北環への乗継ができます						

事業の概要・実施イメージ







乗継場所が分かる路線図と乗継時刻表（大阪府岸和田市）

実施主体 【企画・作成】宇和島自動車、宇和島市

スケジュール 【企画】：2024年度～
 【作成】：2025年度～

備考 ・観光客等は、二次元バーコードから乗継情報等を取得。

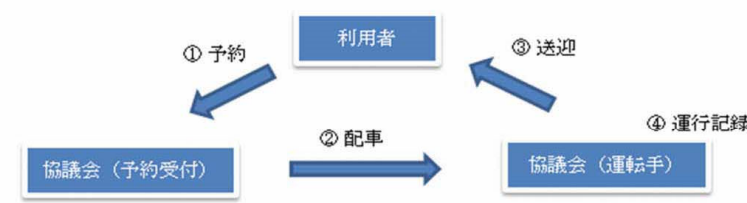

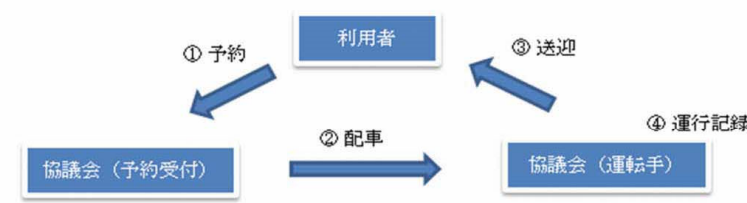

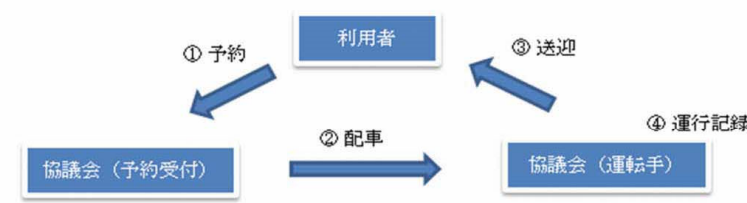

事業 ⑥	地域でバス等の待合空間を整備・維持管理できる仕組みの構築
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 待合環境が充分でないバス停があり、雨天時など利用しづらい状況にある。 ・ 学校ヒアリングでは、小学生が待つための上屋設置の要望が寄せられている。 ・ 交通事業者により既存のバス停の維持管理は行われているが、老朽化が進んでいる。 ・ 宇和島市では、施設整備に関する補助金（宇和島市公共交通利用便益施設整備事業費補助金）を創設している。
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バス利用のある学校等からバス停の上屋整備等の要望があるが、歩道空間が狭い場合、学校側敷地との連携により設置できないか、地域の市民（自治会等）とともに検討を行う。 ・ 地域の市民活動により待合空間を維持管理する仕組みを構築し、宇和島市は取組内容の共有や資金面での支援等を行う。 <div data-bbox="587 887 1225 1375" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="435 1391 1331 1424">学校側敷地との連携によるバス停待合環境整備の事例（岐阜県長良高校前）</p>
実施主体	<p>【企画・地域との協議】 宇和島市</p> <p>【実施】 学校、自治会等</p> <p>【協力】 宇和島自動車</p>
スケジュール	<p>【企画・地域との協議】：2024～2025 年度</p> <p>【実施】：2026 年度～ 設置工事等</p>
備考	

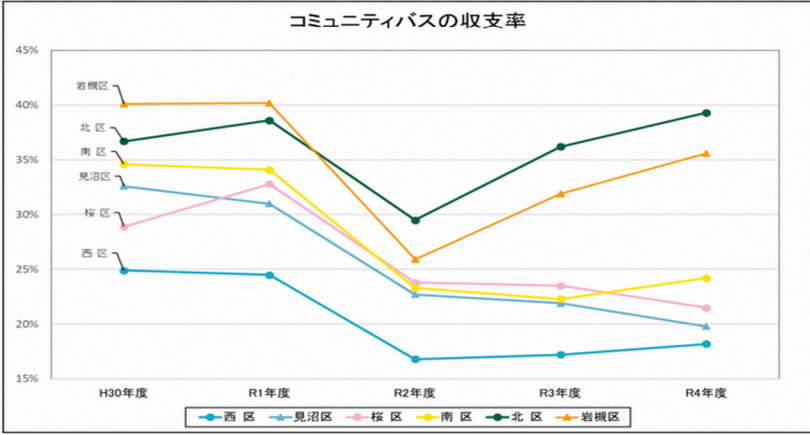
事業 ⑦	バリアフリー化への対応
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進展する中でバリアフリー化への対応は急務であり、国土交通省も、車両のバリアフリー化に関する助成制度を導入し、低床化等を推奨している。 ・鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、海上交通は、車両等の更新時にバリアフリー化に対応している。
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・現行制度の中で、引き続きバリアフリー化を推進する。ハード事業については、バリアフリー化に対応した車両等の導入や道路整備時に対応を行う。 ・ソフト事業については、バリアフリー研修等で、運転士等への周知・徹底を図る。 <p>「しおかぜ・いしづち号 8600 系特急電車」</p>  <p>「ゆきかぜ・高速船」</p>  <p>船内のご案内 Information</p>  <p>車いすご利用のお客様へ</p> <p>1号車の11A席及び4・6号車の12A席は車いす対応座席です。 また、1号車11C席及び4・6号車の12C席に車いすスペースがあります。 1・4・6号車のトイレには車いす対応の洋式トイレを備え付けております。</p> <p>バリアフリー化された車両等の導入例（四国旅客鉄道、盛運汽船）</p>   <p>バリアフリー研修の実施状況（宇和島自動車）</p>
実施主体	【実施】交通事業者
スケジュール	【ソフト事業の実施】：2024 年度～ 継続 【ハード事業の実施】：車両更新時に実施
備考	

事業 ⑧	免許返納に向けた取組																									
現状・ 問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・運転診断推進事業や運転免許証返納支援事業を市にて実施しており、免許返納者は増加傾向である。 ・市民アンケートによると、運転免許証を返納できない理由は、「自由に移動できなくなるから」、「移動手段がまったく無くなるから」等の回答が多い状況であった。 																									
事業の概要・ 実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納を考えている方へ、制度の解説や返納により受けられる特典の広報を継続して実施する。 ・公共交通の割引対象の拡大など、特典等の拡充の取組を推進する。 例) 宇和島自動車：路線バスの片道運賃 5 割引 宇和島ハイヤー・新さつきタクシー・四国自動車交通：タクシー料金 1 割引 ・運転診断推進事業や運転免許証返納支援事業を継続して実施する。 <div data-bbox="544 795 1246 1865" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">交通事故未然防止のために実施している 補助制度のお知らせ</p> <p>宇和島市では、交通事故の抑止を図るため、車の運転に不安を感じる方に対する施策として、令和元年 10 月 1 日から、次の 2 事業の支援を始めました。 ※申請時に市内に住居登録がある方が対象</p> <p>①『自動車運転診断』受講料の補助（宇和島自動車学校での受講が対象） 下記「運転診断」により、運転継続についての助言や、結果に基づく適切なケアが受けられます。 ※なお、免許更新時に必要となる講習は、この補助事業の対象外です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>A コース、D コース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>B コース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>教習中</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>運転診断コース</th> <th>概要</th> <th>所要時間</th> <th>料金</th> <th>料金に対する補助額（1/2）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 実車運転診断</td> <td>教習コース走行して診断</td> <td>約 30 分</td> <td>2,000 円</td> <td>1,000 円</td> </tr> <tr> <td>B 運転適性診断</td> <td>視野や反応を専用機器で判定</td> <td>約 20 分</td> <td>1,000 円</td> <td>500 円</td> </tr> <tr> <td>C 認知機能検査</td> <td>法令講習と同じ内容</td> <td>約 30 分</td> <td>650 円</td> <td>300 円</td> </tr> <tr> <td>D 運転修正</td> <td>A コースの結果を基に、運転しながら技術を修正</td> <td>約 50 分</td> <td>5,000 円</td> <td>2,500 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※希望のコースを選択できます。（複数可） ※すべて予約制です。あらかじめ、宇和島自動車学校へご連絡ください。 ※ご希望の日に予約できないこともあります。 ※自動車学校で料金をお支払い後、市役所にて補助金申請の手続きをお願いします。 ①の補助を受けるために必要なもの。（市役所 2F 市民課または、各支所総務係にて手続き可能）</p> <ol style="list-style-type: none"> 運転免許証（住所確認のため） 印鑑 自動車学校が発行する領収・修了証明書（令和元年 10 月 1 日以降のもの） 補助金の振込を希望する通帳（市でコピーします） <p>②『運転経歴証明書』取得費の補助（宇和島警察署での申請が対象） 証明書の交付手数料と郵送料（後日郵送）の全額を宇和島市が補助します。 ※この事業は、宇和島警察署・宇和島交通安全協会・宇和島市が協力して実施しています。 「運転経歴証明書」の提示により、支援事業所で様々な特典（※）を受けることができます。 ※詳しくは、愛媛県警察HPをご覧ください。 ②の補助を受けるために必要なもの。（宇和島警察署の窓口でのみ申請が可能です）</p> <ol style="list-style-type: none"> 運転免許証（住所確認のため） 印鑑 ※その他、証明書の交付には、写真（縦 3cm×横 2.4cm）も必要です。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>問合せ先</p> <p>●運転診断について 宇和島自動車学校 0895-22-4671</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>●免許返納について 宇和島警察署交通課 0895-22-0110</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>●補助金について 宇和島市市民課 0895-49-7004</p> </div> </div> </div>	運転診断コース	概要	所要時間	料金	料金に対する補助額（1/2）	A 実車運転診断	教習コース走行して診断	約 30 分	2,000 円	1,000 円	B 運転適性診断	視野や反応を専用機器で判定	約 20 分	1,000 円	500 円	C 認知機能検査	法令講習と同じ内容	約 30 分	650 円	300 円	D 運転修正	A コースの結果を基に、運転しながら技術を修正	約 50 分	5,000 円	2,500 円
運転診断コース	概要	所要時間	料金	料金に対する補助額（1/2）																						
A 実車運転診断	教習コース走行して診断	約 30 分	2,000 円	1,000 円																						
B 運転適性診断	視野や反応を専用機器で判定	約 20 分	1,000 円	500 円																						
C 認知機能検査	法令講習と同じ内容	約 30 分	650 円	300 円																						
D 運転修正	A コースの結果を基に、運転しながら技術を修正	約 50 分	5,000 円	2,500 円																						
実施主体	<p>【広報】：宇和島市</p> <p>【協力】：宇和島警察署、宇和島自動車学校</p>																									
スケジュール	【広報】：2024 年度～ 継続																									
備考																										

事業 ⑨	バス等の路線網の再編、最適化													
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスについて、愛媛県事業としての広域バス路線の再編は完了しているが、重複路線が一部存在している。 ・路線バスの一部の区間では、利用者が極端に少ない状況である。 ・コミュニティバス、デマンドタクシーについて、2023年度に利用者の利便性向上を図ることを目的に土日実証運行やアンケート調査を行ったが、いずれの路線も平日と比べて利用者が少ない状況であった。 ・市民アンケートや関係者ヒアリングにおける路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーを利用しない理由は、「他に移動手段がある」、「行きたい場所まで行けない」、「運行時間に不都合がある」等の意見が多い状況であった。 													
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスについては、愛媛県の実施計画の再編結果や各路線の利用状況を踏まえ、継続的に検証・改善を図る。 ・路線バスの利用状況調査の結果や市民要望を踏まえ、重複路線や乗継などを考慮しながら、必要に応じ運行路線やダイヤ調整を検討する。 <p style="text-align: center;">路線バスの再編の方向性（案）</p> <table border="1" data-bbox="408 1003 1401 1252"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>系統名・区間等</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">宇和島市内線</td> <td>出口・薬師谷・柿の木方面</td> <td rowspan="2">運行経路の見直しと重複区間の解消検討</td> </tr> <tr> <td>柿原・大浦・赤松方面</td> </tr> <tr> <td>三浦半島線</td> <td>下波東～水産試験場前</td> <td>形態見直し検討</td> </tr> <tr> <td>岩松支線</td> <td>岩松～脇～嵐方面</td> <td>小学生通学便の必要性検討</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">出典：宇和島自動車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス、デマンドタクシーについては、引き続き、利用者の利便性向上に向けた実証運行による利用状況調査やデマンド利用登録対象者へのアンケート調査を実施し、運行路線やダイヤの検討を行い、路線網の再編や最適化を図る。 	路線名	系統名・区間等	方向性	宇和島市内線	出口・薬師谷・柿の木方面	運行経路の見直しと重複区間の解消検討	柿原・大浦・赤松方面	三浦半島線	下波東～水産試験場前	形態見直し検討	岩松支線	岩松～脇～嵐方面	小学生通学便の必要性検討
路線名	系統名・区間等	方向性												
宇和島市内線	出口・薬師谷・柿の木方面	運行経路の見直しと重複区間の解消検討												
	柿原・大浦・赤松方面													
三浦半島線	下波東～水産試験場前	形態見直し検討												
岩松支線	岩松～脇～嵐方面	小学生通学便の必要性検討												
実施主体	【調査・検討】：宇和島自動車、宇和島市													
スケジュール	【調査・検討】：2024年度～ 再編、最適化は必要に応じ実施													
備考														

事業 ⑩	必要な路線等への支援体制の検討																									
現状・ 問題点	<ul style="list-style-type: none"> 海上交通や一部の路線バス、コミュニティバスについては、利用者が限られ、慢性的な赤字路線となっているが、地域住民の生活手段として存続が求められている。 必要な路線等の維持を図るため、地域内フィーダー系統確保維持計画が策定されている。 																									
事業の概要・ 実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 生活交通路線の確保・維持するため、国や県の補助を活用しながら、公共交通事業者（路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、海上交通）への市の支援体制の強化・充実を検討する。 補助系統の地域の公共交通における位置づけ、補助事業の必要性等について、本計画の中で位置づけ、必要な路線等への支援を引き続き行う。 <p style="text-align: center;">路線バスへの現在の補助体系</p> <table border="1" data-bbox="461 797 1342 1879"> <thead> <tr> <th>補助名称</th> <th>種別</th> <th>補助対象路線</th> <th>補助対象経費</th> <th>補助金の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">運行費補助金</td> <td rowspan="2">県単独補助分</td> <td>国庫補助系統以外の生活交通バス路線 ①運行系統の距離が5km以上のもの ②運行系統の1日当たりの輸送量が15人から150人までのもの ③運行系統の1日当たりの運行回数が3回以上のもの ④補助対象期間に当該生活交通バス路線の運行によって得た運行系統の経常収益の額が路線バス補助対象経常費用に達していないもの</td> <td>補助対象経常費用と経常収益との差額 ただし、補助対象経常費用の20分の9に相当する額を限度とする</td> <td>補助対象経費の額の合計額</td> </tr> <tr> <td>国庫補助制度の補助対象路線のうち、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の交付を申請している生活交通バス路線</td> <td>補助対象収支差額 ただし、国庫補助制度及び県運行対策費補助制度並びに宇和島市生活交通バス路線維持・確保対策事業費補助金交付要綱第1節の規定による補助金がある場合は、補助対象収支差額から当該補助金の額を差し引いた額を上限とする</td> <td>国庫補助制度及び県運行対策費補助制度による補助金の額が国庫補助制度における補助限度額に満たない部分 国庫補助限度額から国庫補助金等の額を差し引いた額の2分の1以内の額</td> </tr> <tr> <td>市単独補助分</td> <td>国庫補助制度の補助対象路線のうち、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の交付を申請しているバス路線</td> <td></td> <td>補助対象経費の額の合計額以内</td> </tr> <tr> <td>路線バス運行費補助金(県単独補助分)の交付を申請している生活交通バス路線</td> <td></td> <td>県単独補助制度における補助限度額が補助対象経費の額に満たない部分 補助対象経費の額から県単独補助上限額を差し引いた額の2分の1以内の額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>国庫補助制度及び県単独補助制度の補助対象路線以外の生活交通バス路線のうち、住民の生活維持・確保に必要であると市長が認めた生活交通バス路線</td> <td></td> <td>補助対象経費の額の合計額以内</td> </tr> </tbody> </table>	補助名称	種別	補助対象路線	補助対象経費	補助金の額	運行費補助金	県単独補助分	国庫補助系統以外の生活交通バス路線 ①運行系統の距離が5km以上のもの ②運行系統の1日当たりの輸送量が15人から150人までのもの ③運行系統の1日当たりの運行回数が3回以上のもの ④補助対象期間に当該生活交通バス路線の運行によって得た運行系統の経常収益の額が路線バス補助対象経常費用に達していないもの	補助対象経常費用と経常収益との差額 ただし、補助対象経常費用の20分の9に相当する額を限度とする	補助対象経費の額の合計額	国庫補助制度の補助対象路線のうち、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の交付を申請している生活交通バス路線	補助対象収支差額 ただし、国庫補助制度及び県運行対策費補助制度並びに宇和島市生活交通バス路線維持・確保対策事業費補助金交付要綱第1節の規定による補助金がある場合は、補助対象収支差額から当該補助金の額を差し引いた額を上限とする	国庫補助制度及び県運行対策費補助制度による補助金の額が国庫補助制度における補助限度額に満たない部分 国庫補助限度額から国庫補助金等の額を差し引いた額の2分の1以内の額	市単独補助分	国庫補助制度の補助対象路線のうち、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の交付を申請しているバス路線		補助対象経費の額の合計額以内	路線バス運行費補助金(県単独補助分)の交付を申請している生活交通バス路線		県単独補助制度における補助限度額が補助対象経費の額に満たない部分 補助対象経費の額から県単独補助上限額を差し引いた額の2分の1以内の額			国庫補助制度及び県単独補助制度の補助対象路線以外の生活交通バス路線のうち、住民の生活維持・確保に必要であると市長が認めた生活交通バス路線		補助対象経費の額の合計額以内
補助名称	種別	補助対象路線	補助対象経費	補助金の額																						
運行費補助金	県単独補助分	国庫補助系統以外の生活交通バス路線 ①運行系統の距離が5km以上のもの ②運行系統の1日当たりの輸送量が15人から150人までのもの ③運行系統の1日当たりの運行回数が3回以上のもの ④補助対象期間に当該生活交通バス路線の運行によって得た運行系統の経常収益の額が路線バス補助対象経常費用に達していないもの	補助対象経常費用と経常収益との差額 ただし、補助対象経常費用の20分の9に相当する額を限度とする	補助対象経費の額の合計額																						
		国庫補助制度の補助対象路線のうち、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の交付を申請している生活交通バス路線	補助対象収支差額 ただし、国庫補助制度及び県運行対策費補助制度並びに宇和島市生活交通バス路線維持・確保対策事業費補助金交付要綱第1節の規定による補助金がある場合は、補助対象収支差額から当該補助金の額を差し引いた額を上限とする	国庫補助制度及び県運行対策費補助制度による補助金の額が国庫補助制度における補助限度額に満たない部分 国庫補助限度額から国庫補助金等の額を差し引いた額の2分の1以内の額																						
	市単独補助分	国庫補助制度の補助対象路線のうち、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の交付を申請しているバス路線		補助対象経費の額の合計額以内																						
	路線バス運行費補助金(県単独補助分)の交付を申請している生活交通バス路線		県単独補助制度における補助限度額が補助対象経費の額に満たない部分 補助対象経費の額から県単独補助上限額を差し引いた額の2分の1以内の額																							
		国庫補助制度及び県単独補助制度の補助対象路線以外の生活交通バス路線のうち、住民の生活維持・確保に必要であると市長が認めた生活交通バス路線		補助対象経費の額の合計額以内																						
実施主体	【企画】 宇和島市 【調整】 交通事業者																									
スケジュール	【企画】 ：2024年度～ 補助基準と支援内容の改訂は必要に応じ実施																									
備考																										

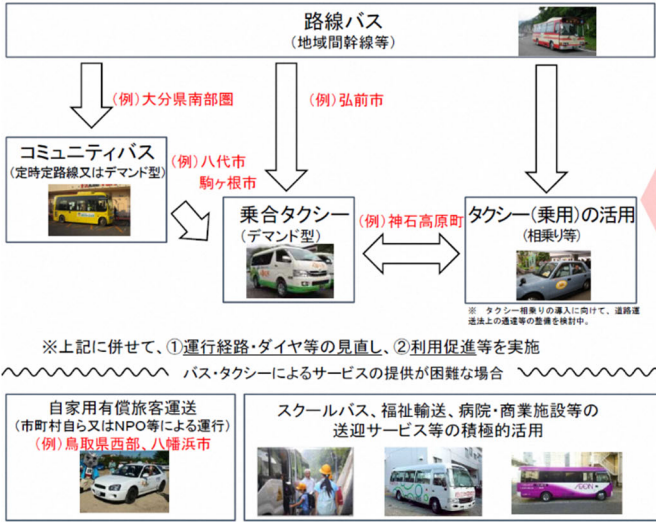
事業 ⑪	地域主体で行う地域モビリティ等の取組を支援する仕組みの構築														
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 既存のバス・タクシー事業者による輸送サービスの提供が困難な場合、地域の関係者による協議等を経て、自家用有償旅客輸送事業を導入することができる。 2023年度に戸島地区にて地域モビリティの実証運行を実施しており、月平均約90件の利用があった。 														
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 戸島の地域モビリティの実証運行結果を踏まえ、他地域への展開を検討する。 <p style="text-align: center;">戸島地区の地域モビリティの事業概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">運営主体</td> <td>戸島地区地域づくり協議会</td> </tr> <tr> <td>目的</td> <td>公共交通空白地域の解消及び交通弱者の移動利便性（＝地域モビリティ）の向上。</td> </tr> <tr> <td>運送地域</td> <td>○区域運行：戸島地区内（本浦、小内浦、郡）</td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td>○地区住民及び観光旅客を含む来訪者 【参考 R5.4.1現在】本浦：124人（うち、75歳以上 32人） 小内浦：106人（うち、75歳以上 31人） 郡：4人（うち、75歳以上 3人）</td> </tr> <tr> <td>運行内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○運行日：平日及び土曜日（日曜・祝日は除く）※事前予約制 ○運行時間：7時～17時 ○利用者：主に、地区内で移動手段を持たない高齢者等の利用を想定。 ○利用用途：特に限定はしない（傷病等の緊急時は消防等を利用） 主に、「買い物」「通院」「フェリーのりばへの移動」による利用を想定。 ○利用料金：一律100円（1人1回の運行（片道）につき） ※未就学児については、大人1人につき1人無料（利用人数には計上） ○利用方法：原則、運行日の前日までに電話による予約（公民館で受付） ○利用イメージ <div style="text-align: center;">  <pre> graph TD User[利用者] -- ① 予約 --> Assoc1[協議会 (予約受付)] Assoc1 -- ② 配車 --> Assoc2[協議会 (運転手)] Assoc2 -- ③ 送迎 --> User Assoc2 -- ④ 運行記録 --> Assoc1 </pre> </div> </td> </tr> <tr> <td>使用車両</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○軽自動車1台（ハイゼット（4人乗り））  </td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>○宇和島市地域公共交通網形成計画に位置付ける事業 12. 地域主体で行うコミュニティバス等の取組を支援する仕組みの構築</td> </tr> </table>	運営主体	戸島地区地域づくり協議会	目的	公共交通空白地域の解消及び交通弱者の移動利便性（＝地域モビリティ）の向上。	運送地域	○区域運行：戸島地区内（本浦、小内浦、郡）	対象者	○地区住民及び観光旅客を含む来訪者 【参考 R5.4.1現在】本浦：124人（うち、75歳以上 32人） 小内浦：106人（うち、75歳以上 31人） 郡：4人（うち、75歳以上 3人）	運行内容	<ul style="list-style-type: none"> ○運行日：平日及び土曜日（日曜・祝日は除く）※事前予約制 ○運行時間：7時～17時 ○利用者：主に、地区内で移動手段を持たない高齢者等の利用を想定。 ○利用用途：特に限定はしない（傷病等の緊急時は消防等を利用） 主に、「買い物」「通院」「フェリーのりばへの移動」による利用を想定。 ○利用料金：一律100円（1人1回の運行（片道）につき） ※未就学児については、大人1人につき1人無料（利用人数には計上） ○利用方法：原則、運行日の前日までに電話による予約（公民館で受付） ○利用イメージ <div style="text-align: center;">  <pre> graph TD User[利用者] -- ① 予約 --> Assoc1[協議会 (予約受付)] Assoc1 -- ② 配車 --> Assoc2[協議会 (運転手)] Assoc2 -- ③ 送迎 --> User Assoc2 -- ④ 運行記録 --> Assoc1 </pre> </div>	使用車両	<ul style="list-style-type: none"> ○軽自動車1台（ハイゼット（4人乗り）） 	その他	○宇和島市地域公共交通網形成計画に位置付ける事業 12. 地域主体で行うコミュニティバス等の取組を支援する仕組みの構築
運営主体	戸島地区地域づくり協議会														
目的	公共交通空白地域の解消及び交通弱者の移動利便性（＝地域モビリティ）の向上。														
運送地域	○区域運行：戸島地区内（本浦、小内浦、郡）														
対象者	○地区住民及び観光旅客を含む来訪者 【参考 R5.4.1現在】本浦：124人（うち、75歳以上 32人） 小内浦：106人（うち、75歳以上 31人） 郡：4人（うち、75歳以上 3人）														
運行内容	<ul style="list-style-type: none"> ○運行日：平日及び土曜日（日曜・祝日は除く）※事前予約制 ○運行時間：7時～17時 ○利用者：主に、地区内で移動手段を持たない高齢者等の利用を想定。 ○利用用途：特に限定はしない（傷病等の緊急時は消防等を利用） 主に、「買い物」「通院」「フェリーのりばへの移動」による利用を想定。 ○利用料金：一律100円（1人1回の運行（片道）につき） ※未就学児については、大人1人につき1人無料（利用人数には計上） ○利用方法：原則、運行日の前日までに電話による予約（公民館で受付） ○利用イメージ <div style="text-align: center;">  <pre> graph TD User[利用者] -- ① 予約 --> Assoc1[協議会 (予約受付)] Assoc1 -- ② 配車 --> Assoc2[協議会 (運転手)] Assoc2 -- ③ 送迎 --> User Assoc2 -- ④ 運行記録 --> Assoc1 </pre> </div>														
使用車両	<ul style="list-style-type: none"> ○軽自動車1台（ハイゼット（4人乗り）） 														
その他	○宇和島市地域公共交通網形成計画に位置付ける事業 12. 地域主体で行うコミュニティバス等の取組を支援する仕組みの構築														
実施主体	<p>【企画・地域との協議】宇和島市</p> <p>【実施】各地区の地域づくり協議会等</p>														
スケジュール	<p>【企画・地域との協議】：2024～2025年度</p> <p>【実施】：2026年度以降に、実証運行等</p>														
備考															

事業 ⑫	公共交通の現状に関する広報の実施
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行地区（吉田地区、三間地区、津島地区）を対象に、前年度の利用状況を示すチラシを作成し、回覧を行っている。
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの利用状況を対象とした、チラシ作成と回覧は継続して実施する。 ・コミュニティバスの利用状況について、回覧以外での広報方法（ホームページ、公共施設等への配置）を検討し実施する。 <div data-bbox="453 629 1353 1899" style="border: 1px solid gray; padding: 10px;"> <p>コミュニティバス等の利用者数・収支率について このページを印刷する</p> <p>コミュニティバス等の収支率の考え方について</p> <p>「収支率」は、運行経費(※)と運賃収入の比率を表す指標で、以下の式で表されます。</p> $\text{収支率 (\%)} = \text{運賃収入} \div \text{運行経費} \times 100$ <p>例えば、収支率が40%の場合、運賃収入によって運行経費の40%がまかなわれているということになります。</p> <p>※運行経費 人件費、燃料費、車両修繕費、自動車税、保険料、一般管理費などの運行維持費であり、車両償却費などの初期導入費は含まれません。</p> <p>コミュニティバスの収支状況について</p> <p>●コミュニティバスの年間利用者数</p>  <p>●コミュニティバスの収支率</p>  <p>コミュニティバスの利用者数と収支率のホームページ広報事例（さいたま市）</p> </div>
実施主体	【企画・実施】：宇和島市
スケジュール	【企画・実施】：2024年度～
備考	

<p>事業 ⑬</p> <p>現状・問題点</p>	<p>運転士等確保に向けた取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県の公共交通人材確保緊急対策事業と連携し、学生向けイベントの周知・協力をを行った。 ・鉄道、バス、タクシー、海上交通の全てにおいて、運転士等の人材が不足している。
<p>事業の概要・実施イメージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転士等の確保に向け、県事業との連携のほか、交通事業者とも連携しながら新たな取組を実施する。(自動車教習所や高校等と連携した運転士等の募集) <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>(7) 採用活動の工夫</p> <p>● 大型バス運転士職会の開催</p> <p>北陸鉄道株式会社 (石川県金沢市) 資本金：18億円 (バス事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 取組概要 <ul style="list-style-type: none"> ・北陸鉄道グループでは、バス運転士の確保に向けて、国土交通省北陸信越運輸局長官直轄運輸支隊の協力を主として「大型バス運転士職会」を開催しています。 ・自社ホームページ、募集チラシ、駅構内、高校・専門学校等に「大型バス運転士職会」の開催を知らせ、バス運転士に関心のある人を集めています。 ・「大型バス運転士職会」の開催内容は下記のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・職会による就職ガイダンス ・バス運転体験 (補助ブレーキ併用車使用、指導員同乗) ・路線バス車内乗降体験 ・運転士との座談会、採用担当者による事業内容説明 ・「大型バス運転士職会」の参加資格は、年齢21～50歳前後 (男女問わず)、大型、中型、普通 (特) 免許取得者です。参加費は無料であり事前予約制となっています。 ◆ 取組効果 <ul style="list-style-type: none"> ・「大型バス運転士職会」の参加者は集みながら大型バスを運転することで、バス運転士としての可能性を体感することができ、参加者は20名を超え、急ぎ追加開催もしています。 ・同社では、今後も「大型バス運転士職会」を定期的に開催するとともに、女性を対象とした「大型バス運転士職会」の開催も予定しています。 <p>● インターンシップの実施</p> <p>佐藤内船シブマネジメント株式会社 (新潟県新潟市) 資本金：900万円 (旅客船事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 取組概要 <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤内船シブマネジメント株式会社では、インターンシップを開催し、富山県立富山大学、新潟県立富山大学などから学生を募集しています。 ・富山県立富山大学から14年生、新潟県立富山大学から12年生を対象としてインターンシップを実施しています。インターンシップに参加した学生は、新潟県産物のフェッリエルとして、仕事現場を見学しています。 ◆ 取組効果 <ul style="list-style-type: none"> ・同社では、インターンシップの開催を通して、海洋系学校の学生に船員の仕事を、船内生活体験してもらい、それが将来の船員の確保・採用につながることを実現しています。 </div> <div style="width: 50%;"> <p>(2) 応募条件の緩和</p> <p>● 海技士免許に関する応募条件を緩和</p> <p>東島汽船株式会社 (新潟県柏崎 砂原島増村) 資本金：6,500万円 (旅客船事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 取組概要 <ul style="list-style-type: none"> ・東島汽船株式会社は、新潟県柏崎市市内の新潟県と東島とを結ぶフェリー、運送船を運航しています。 ・東島には高校がなく、中学校を卒業すると東島を離れることになり、東島では再就職先も限られており、若者は東島に留りません。東島の減少しても、東島の暮らしを安定的に維持し、フェリーを運航し続ける必要があり、社員を育てる必要があります。 ・同社は、就職意向に向けて高等教育機関の卒業生を募集し、就業先を誘っています。上記に、応募資格を緩和し、応募者を拡大して就職者の確保に力を入れています。 ・未経験者を採用して社員を育成するため、東島汽船株式会社では、資格取得に向けた経済的支援を実施しています。資格取得に向けた講習会参加費、宿泊費、交通費は、同社が負担しています。 ◆ 取組効果 <ul style="list-style-type: none"> ・1日1泊2泊を要する一般大学を卒業した未経験者が就業し、平成28年度に1名の中途採用に至っています。3年間の資格取得を確かなる資格取得を目指しています。 <p>● 大型第二種免許に関する応募条件を緩和</p> <p>相鉄バス株式会社 (神奈川県横浜市) 資本金：1億円 (バス事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 取組概要 <ul style="list-style-type: none"> ・相鉄バス株式会社では、バス運転士の確保に向けて応募条件を緩和するとともに、「養成制度」を設けて大型第二種免許を持たない人の応募も受け付けています。 ・年齢21歳から50歳まで、普通免許取得後3年以上経過していること、過去3年以内に免許停止および取消処分が無いことなどを主な応募条件としています。 ・大型第二種免許を持たない応募者が集まり、採用試験で集中的に講習を受け、大型第二種免許を取得後、正社員として入社することができ、3ヶ月間は試用期間となりますが、免許取得のための講習費用は実費です。3年間は新人も勤労により高給手として扱います。 ・同社では、女性バス運転士の確保にも注力しており、営業所に更衣室や休憩室などの女性専用スペースを用意し、女性が働きやすい環境を整えています。 ◆ 取組効果 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度のバス運転士の中途採用者のうち約割が「養成制度」を活用しています。 </div> <div style="width: 50%;"> <p>(9) 女性の採用</p> <p>● 完全固定給と正社員運転士の導入</p> <p>南大阪第一交通株式会社 (大阪府大阪市) 資本金：4,900万円 (タクシー事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 取組概要 <ul style="list-style-type: none"> ・南大阪第一交通株式会社では、女性タクシー運転士の採用に向けて平成28年1月から「完全固定給正社員」制度を導入しています。「完全固定給正社員」制度は、完全固定給と正社員としての待遇 (社会保険) を両立させた雇用形態です。採用は、同社が全額負担しています。 ・同社では、「完全固定給正社員制度」(内閣府、労働使が中心で民間企業労働者協会) を活用し、平成28年7月に事業所内教育用「正しいキャブルーム乗降手順」を策定し、さらに女性や高齢者が働きやすい環境を整えて、女性タクシー運転士の採用を促進しています。 ・「正しいキャブルーム乗降手順」は、その普及から研修費を受け入れ、社員は月額1万5千円程度で利用することができます。 ◆ 取組効果 <ul style="list-style-type: none"> ・「完全固定給正社員」制度の導入により、女性タクシー運転士は従来の1名から7名に増加しています。事業所内教育用の取組により、2名の女性がタクシー運転士を目指して、現在研修を受けています。同社では、女性タクシー運転士の割合を将来10%にすることを目標としています。 <p>● 女性限定バス運転士職会の開催</p> <p>宮城交通株式会社 (宮城県仙台市) 資本金：1億円 (バス事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 取組概要 <ul style="list-style-type: none"> ・宮城交通株式会社では、路線バスの女性バス運転士の採用に向けて「女性限定バス運転士職会」を開催しています。 ・「女性限定バス運転士職会」の開催は、宮城交通株式会社の営業所、養老駅から遠征も実施しています。 ・「女性限定バス運転士職会」の参加資格は、普通免許以上を所持し、バス運転士経験のある55歳までの女性です。事前予約制で参加費は約20人です。 ◆ 取組効果 <ul style="list-style-type: none"> ・宮城交通株式会社では、「女性限定バス運転士職会」を通じて女性バス運転士を募集し、平成28年度の体験型研修から女性バス運転士を採用して、現在1泊2泊で働いています。 ・同社では、「女性限定バス運転士」に大きく一掃営業所向け研修を実施し、平成28年度研修で15名の女性バス運転士を平成22年度までに20名に増やす目標を掲げています。 </div> <div style="width: 50%;"> <p>(10) U・Iターン人材の確保</p> <p>● 移住予定者の採用</p> <p>西京バス株式会社 (徳島県三好市) 資本金：1億5,000万円 (バス事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 取組概要 <ul style="list-style-type: none"> ・西京バス株式会社は、東京圏多摩西部を中心とした路線バスの運行や、高速バス・貸切バス事業を行う交通事業者です。 ・同社では平成24年から人口約100人の徳島県三好市と共同で、種別別住民連携推進会議(徳島県徳島市)を設置し、バス運転士の採用を促しています。 ・応募資格は、希望居住地が移住予定者(U・Iターン者)です。大型第二種免許の取得も推奨しています。 ・徳島県が移住促進策として、転居の補助、移住者の教育費が軽減になっており、徳島県が西京バス株式会社と協同して、希望居住地(移住予定者を含む)に限定したバス運転士の採用が行われています。種別別では、求人情報の発信も協同しています。 ◆ 取組効果 <ul style="list-style-type: none"> ・西京バス株式会社では、平成24年以降バス運転士として3名の種別別住民連携および移住予定者を採用しており、種別別の定住人口の増加にも貢献しています。 <p>● 都内開催合同説明会への出席</p> <p>十勝バス株式会社 (北海道帯広市) 資本金：5,000万円 (バス事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 取組概要 <ul style="list-style-type: none"> ・十勝バス株式会社は、帯広地方を中心として路線バスや貸切バスの運行を行っている新幹線沿線の交通事業者です。 ・同社は、十勝地方からだけでなくバス運転士の確保が難しいことから、東京圏で展開されたバス運転士専門の合同説明イベント「どらなびE×P.O」(東京圏) に参加して出席し、東京圏からのバス運転士の確保を目指しています。「どらなびE×P.O」は、バス運転士専門の求人サイトを開発する民間企業が主催しており、平成28年秋季には東京、大阪、名古屋の3会場で開催しています。東京会場では約20人のバス運転士に関心のある応募者を募集しています。 ・同社は、移住支援に取り組み十勝地方の意向に対して、バス運転士の住居確保への協力を呼びかけ、市町村と連携した移住促進を目指しています。 ◆ 取組効果 <ul style="list-style-type: none"> ・「どらなびE×P.O」(東京会場)の十勝バス株式会社のブースには、約20名のバス運転士に関心のある応募者が訪れました。その数名は採用に向けた交渉ができています。平成28年度は3名のバス運転士を採用し、そのうち1名は帯広からの1ターンです。 </div> </div>
<p>実施主体</p>	<p>【企画・実施】：交通事業者、愛媛県、宇和島市</p>
<p>スケジュール</p>	<p>【企画・実施】：2024年度～</p>
<p>備考</p>	<p></p>

人材確保に向けた取組事例集 (国土交通省北陸信越運輸局)

事業⑭	新たな技術やサービスに関する取組
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの時刻表や路線情報を国際標準形式（GTFS）で提供している。 ・キャッシュレス決済は、四国旅客鉄道では「しこくスマートえきちゃん」により実施済み。宇和島自動車では2023年9月より「宇和島バスおでかけスマホパス」の運用を開始し、スマホタッチ支払い（松山線）と全線フリーパス（5,500円事前決済で3日間乗り放題）の2種類を展開している。 ・2022年に愛媛県で「南予デジタル交通チケット YODO Maas」の実証実験を実施。観光客向けに、ネットで購入可能な南予地域のJR・路線バス乗り放題券を販売。（四国旅客鉄道、宇和島自動車、宇和島ハイヤーが参加）
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの路線情報等は、GTFSで継続して更新を行う。 ・「宇和島バスおでかけスマホパス」は対象路線の拡充が予定されており、宇和島自動車と連携した周知促進の取組を実施し、キャッシュレス化の拡大・推進を図る。 ・今後、愛媛県にてキャッシュレス化の計画（実証実験含む）がある場合は、市も連携を図る。 <p>(1) 路線バス（宇和島自動車）</p> <p>KDDIが提供する高精度位置測定サービス（※注4）対応機器をバスの中に設置し、誤差数センチメートルのリアルタイム位置測定を活用し、バスの正確な位置情報を把握します。</p> <p>バスの乗降時に、車内設置のNFCプレートにスマホをかざしていただくことで、バスの位置情報とスマホの情報がクラウドシステム上で連携し、乗車バス停、降車バス停を推定します。（※注4）</p> <p>乗降バス停情報から区間運賃を計算し、登録されたクレジットカードから運賃が引き落とされます。</p>  <p><高精度位置測定サービスを活用した運賃支払いのイメージ></p> <p>(2) 鉄道（JR四国）</p> <p>改札入出時に駅設置のNFCプレートにスマホをかざすことで乗降した駅を自動で記録し、運賃が自動精算されます。</p>  <p><鉄道・路線バスにおける本サービスの利用イメージ></p> <p>(3) タクシー（宇和島ハイヤー、松野タクシー、近永タクシー）</p> <p>降車時にNFCプレートにスマホをかざすことで決済画面が表示され、メーターの金額を入力すると決済が完了します。</p>  <p><タクシーにおける本サービスの利用イメージ></p> <p>(4) コミュニティバス（松野町、鬼北町）</p> <p>降車時に車内のNFCプレートにスマホをかざすことで均一料金の乗車料金を自動で決済します。</p>  <p><コミュニティバスにおける本サービスの利用イメージ></p> <p>スマホで複数の公共交通が利用できるキャッシュレス化の実証実験（愛媛県、KDDI）</p>
実施主体	<p>【企画・調整】：愛媛県、宇和島市等</p> <p>【実施】：交通事業者、関係者等</p>
スケジュール	<p>【企画・調整】：2024～2026年度</p> <p>【実施】：2027年度～</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客等は、情報をホームページで公開。

事業 ⑮	市内輸送資源の有効活用を検討
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の本格化、運転手不足の深刻化等に伴って、既存の公共交通（鉄道、路線バス、高速バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、タクシー、海上交通）の維持が容易でなくなっている。 ・既存の公共交通サービスの維持を図りながら、サービスの不足する地域では、その他の移動手段を総動員して、移動ニーズに対応することが必要になってきている。
事業の概要・実施イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の輸送資源の有効活用を図るため、既存の輸送手段や送迎サービス等（スクールバス、福祉輸送、病院・商業施設等の送迎）を抽出し、その活用方策の検討を行う。 <div style="text-align: center;">  <p>路線バス (地域間幹線等)</p> <p>(例)大分県南部圏 (例)弘前市</p> <p>コミュニティバス (定時定路線又はデマンド型) (例)八代市 駒ヶ根市</p> <p>乗合タクシー (デマンド型) (例)神石高原町</p> <p>タクシー(乗用)の活用 (相乗り等)</p> <p>※ タクシー相乗りの導入に向けて、道路運送法上の適正等の整備を検討中。</p> <p>※上記に併せて、①運行経路・ダイヤ等の見直し、②利用促進等を実施</p> <p>バス・タクシーによるサービスの提供が困難な場合</p> <p>自家用有償旅客運送 (市町村自ら又はNPO等による運行) (例)鳥取県西部、八幡浜市</p> <p>スクールバス、福祉輸送、病院・商業施設等の送迎サービス等の積極的な活用</p> </div> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>需要規模に応じた効率的・効果的な運行</p> <p>定時定路線 路線を定めて運行するものであって、かつ、路線毎にダイヤが定められている運行の形態。 ⇒目的地への一定の輸送ニーズ(通学・通院等)を束ねることで効率的にサービスを提供できる。</p> <p>デマンド型 路線・ダイヤを定まず、旅客毎の需要に応じた乗合運送を行う運行の形態。 ⇒利用者の輸送ニーズに応じて、運行ルートや乗降場所を柔軟に設定できる。</p> </div> <p style="text-align: right;">地域の実情に合わせた交通手段の見直し(ダウンサイジング(※10)等)のイメージ (国土交通省総合政策局資料)</p>
実施主体	<p>【企画・調整】：宇和島市</p> <p>【会議の実施】：庁内会議（市の関係課（福祉、教育等））</p> <p style="text-align: center;">庁外会議（送迎サービス関係者（病院、商業施設、宿泊施設等））</p>
スケジュール	【企画・調整・会議の実施】：2024年度～
備考	

※10：巻末の用語解説参照

4.3. 事業のスケジュール

表 6 事業のスケジュール

事業	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
①乗り方教室、交通安全教室を通じた利用方法の周知			企画・調整・実施		
②公共交通マップ、乗継時刻表の整備	企画		作成・広報		
③路線の案内方法・情報発信方法の改善			検討・実施		
④イベント時等での公共交通に関する情報発信方法の検討	企画		実施		
⑤交通結節点・乗継拠点の維持、乗継情報の充実	企画		作成		
⑥地域でバス等の待合空間を整備・維持管理できる仕組みの構築	企画・地域との協議		実施		
⑦バリアフリー化への対応			ソフト事業は継続、ハード事業は車両更新時に実施		
⑧免許返納に向けた取組			広報は継続		
⑨バス等の路線網の再編、最適化			調査・検討は継続、再編・最適化は必要に応じ実施		
⑩必要な路線等への支援体制の検討			企画、補助基準と支援内容の改訂は必要に応じ実施		
⑪地域主体で行う地域モビリティ等の取組を支援する仕組みの構築	企画・地域との協議			実証運行	
⑫公共交通の現状に関する広報の実施			企画・実施		
⑬運転士等確保に向けた取組の実施			企画・実施		
⑭新たな技術やサービスに関する取組		企画・調整		実施	
⑮市内輸送資源の有効活用 の検討			企画・調整・会議の実施		

4.4. 事業の進捗管理

事業の計画的な推進と目標達成に際しては、Plan(計画立案・評価指標の設定)、Do(計画の円滑な実施)、Check(目標の達成度評価・課題の整理)、Action(評価・改善の妥当性検証)のPDCAサイクルを継続的に行っていくことが必要です。

また、CheckとActionの結果を踏まえ、協議会等にて改善策を議論し、公共交通をより良くしていく意識を高めあって、持続可能な公共交通を構築し、継続していくことが重要です。

そこで、本計画の実施にあたっては、担当者の人事異動等が生じた場合でも、中長期的に円滑にPDCAサイクルを遂行することができるよう、単年度でのPDCAサイクルのスケジュールを示します。

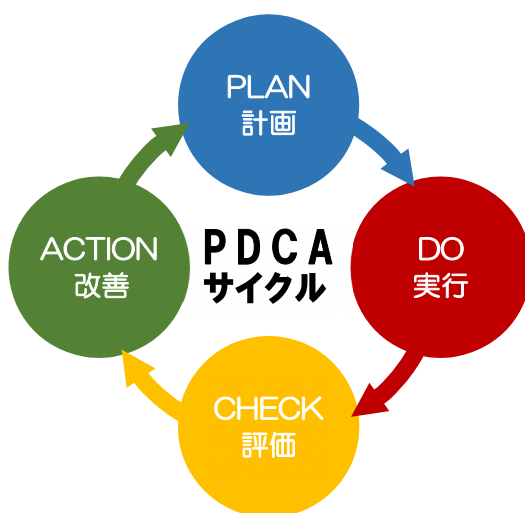


図 4 PDCA サイクルのイメージ

表 7 事業進捗管理・評価スケジュール

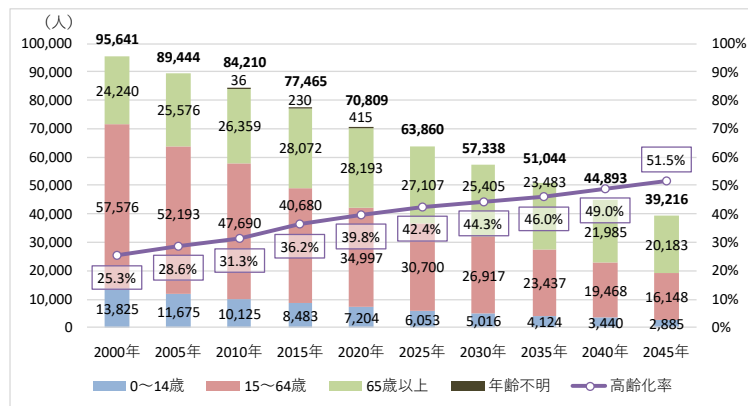
PDCAサイクル	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
計画 (PLAN)		必要に応じて計画の見直し			計画の更新
実行 (DO)	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施
評価 (CHECK)	事業進捗及び目標の達成状況の評価				
改善 (ACTION)			中間評価・改善		最終評価・改善

5. 宇和島市の現況

5.1. 人口

(1) 市全体人口

- 2020年国勢調査では人口が70,809人、高齢化率は39.8%で、人口減少と高齢化が続いています。
- 人口推計によると、2045年には人口が2020年の約半数の39,216人、高齢化率も50%を上回ると予測されています。

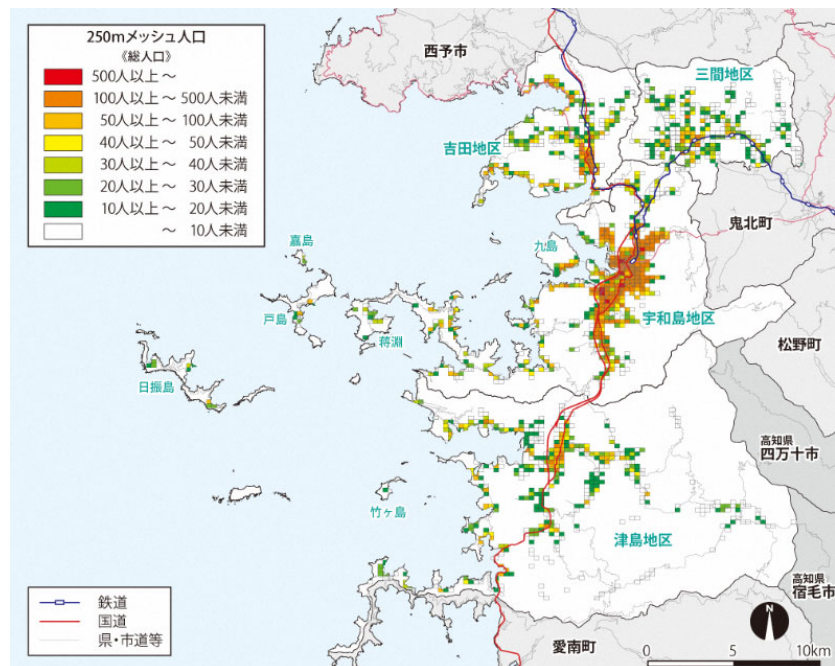


出典：国勢調査（2000年～2020年）、日本の地域将来推計人口（2018年推計 国立社会保障・人口問題研究所）

図 5 宇和島市の人口・高齢化率の推移

(2) 人口の分布状況

- 海に面した宇和島地区、吉田地区、津島地区では、海と山に囲まれたわずかな平野部に人口の集積が見られる一方、沿岸部にも分散的に人口が分布しています。
- 三間地区では、周囲を山々に囲まれた盆地に分散的に人口が分布しています。
- 日振島、嘉島、戸島など、宇和海の一部の離島にも人口が分布しています。

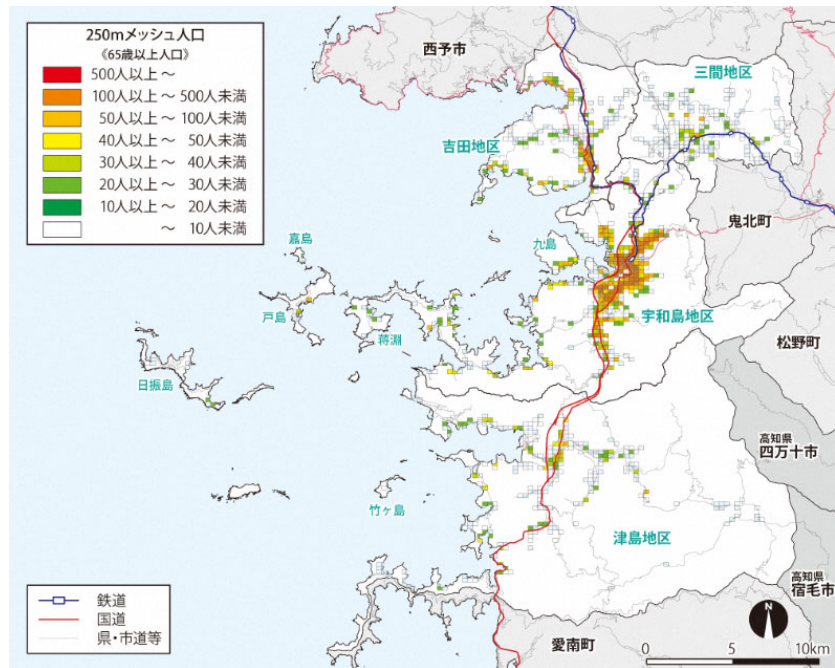


出典：国勢調査（2020年）

図 6 宇和島市の人口分布

(3) 高齢者の分布状況

- 本市の高齢者の分布は、各地区の周辺部で比較的高い傾向となっており、幹線道路沿いなどの人口が集中している地域では相対的に低くなっています。

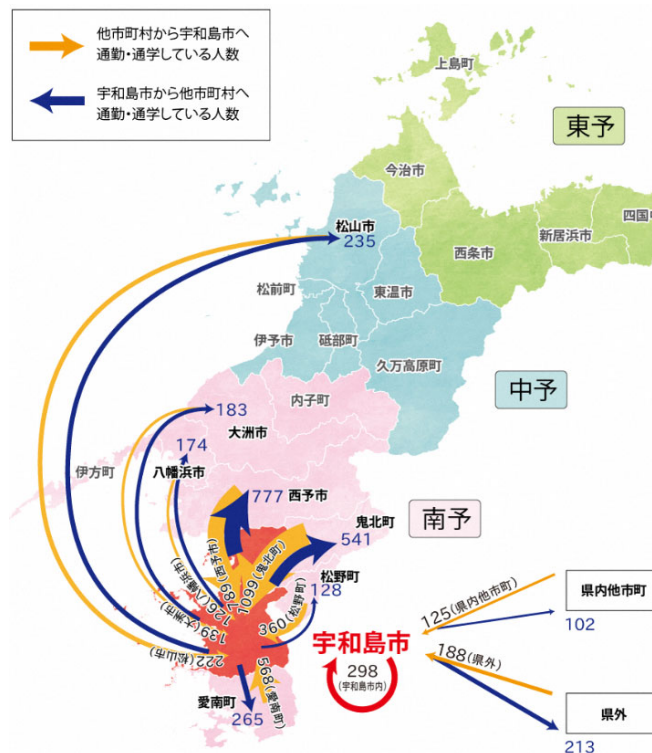


出典：国勢調査（2020年）

図 7 宇和島市の高齢者の分布

(4) 通勤・通学の状況

- 隣接する西予市や鬼北町との間で多くの移動があります。
- 八幡浜市や大洲市、松山市などとの間で広域的な移動も一定数存在しています。



出典：国勢調査（2020年）

図 8 市内外への通勤・通学流動

(5) 土地利用

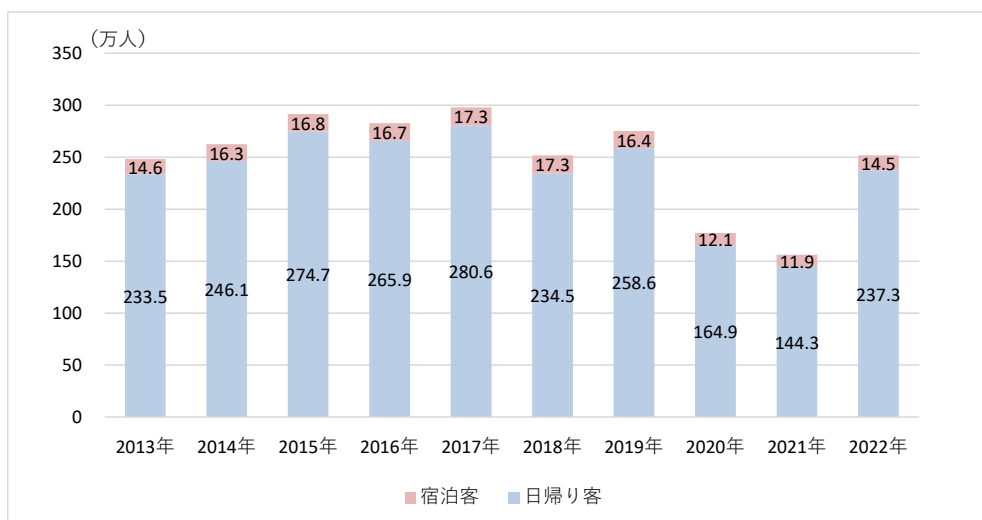
- 宇和島地区の中心部など、人口が集積している地域では、建物用地が多くあります。
- 稲作が盛んな三間地区では田が、柑橘類の栽培が盛んな宇和島地区沿岸部や吉田地区では、その他の農用地が多くあります。
- 津島地区は山に囲まれていることから、大部分が森林となっています。

5.2. 主な施設の分布

- 宇和島地区の中心部には、国道 56 号（宿毛街道）に沿って帯状に多くの機能集積があります。
- 吉田地区、三間地区、津島地区では、各地区の中心部に一定の機能集積があります。

5.3. 観光の状況

- 観光客はコロナ禍の 2020～2021 年を除き、毎年 250 万人／年程度で、大半が日帰り客となっています。



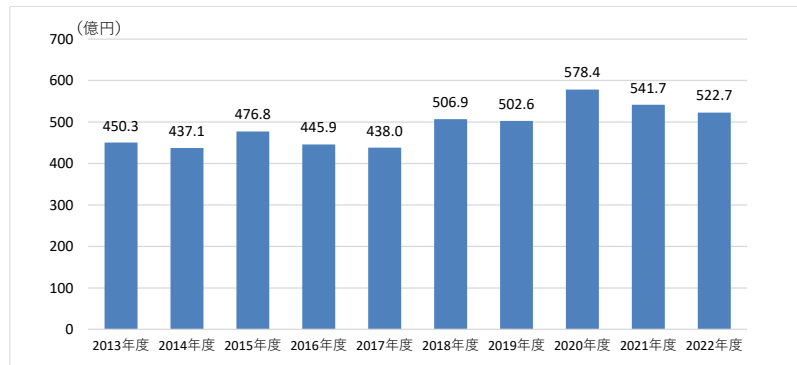
出典：宇和島市資料

図 9 観光客数の推移

5.4. 財政の状況

(1) 歳入の状況

- 市の歳入は、2013～2022 年度まで増加傾向で推移しています。

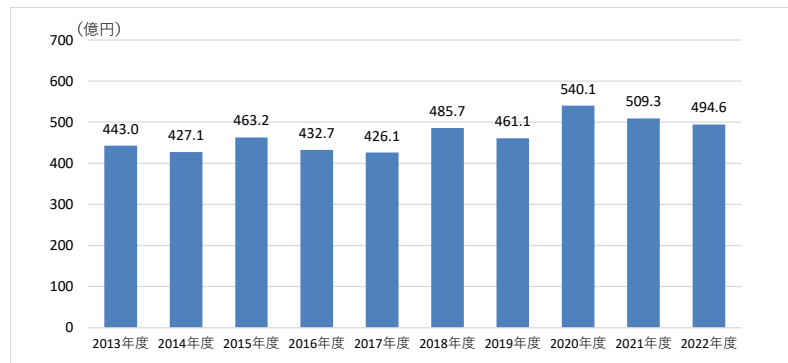


出典：総務省決算カード（2013～2021 年度）、宇和島市（2022 年度）

図 10 歳入の推移

(2) 歳出の状況

- 市の歳出は、2013～2022 年度まで増加傾向で推移しています。

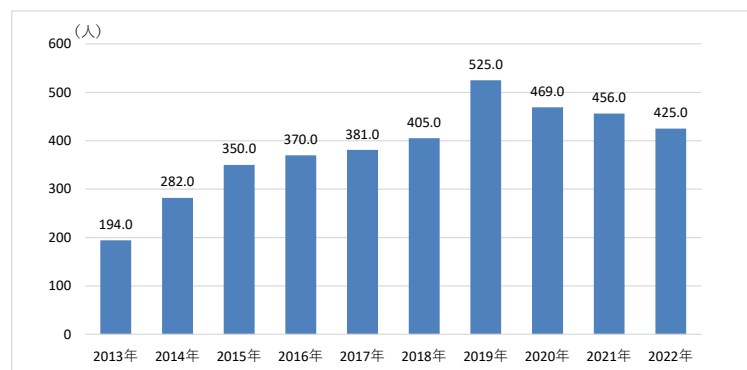


出典：総務省決算カード（2013～2021 年度）、宇和島市（2022 年度）

図 11 歳出の推移

5.5. 運転免許証の返納者

- 市の運転免許証の自主返納者数は、増加傾向を示しています。



出典：宇和島警察署

図 12 運転免許証返納者数の推移

6. 宇和島市が目指すまちづくりの方向性

本計画の上位・関連計画は、総合計画、総合戦略のほか、移動に関連する各種分野別計画や愛媛県が策定した公共交通関連の計画があげられます。これら上位・関連計画におけるまちづくりの方向性について概要を以下に示します。

6.1. 第2次宇和島市総合計画

- 目指すべき将来像は、「継承・共育・発信のまち ～世代を超えて、自然を愛し、歴史を誇る ふるさとうわじまの実現を目指して～」としています。
- 公共交通は「政策目標4 住みよさ」に位置づけられており、市街地の整備においては、「地域公共交通の維持等により生活利便性の確保を図るコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを目指し、魅力的かつ持続可能な市街地形成を計画的に進める」としています。

6.2. 第2期まち・ひと・しごと創生 宇和島市総合戦略

- 目指すべき将来の方向性は、「人や地域、まちが元気になる魅力的なうわじまづくり」としています。
- 公共交通は「基本目標4 市民と地域の力を強化した、持続可能なまちづくり」に位置づけられ、『施策2:「ブルーゾーン(※11) うわじま」の実現』に関わる、高齢になっても健康で生き活きと暮らすことができる健康長寿のまちづくりの推進に寄与するものと考えられています。

6.3. 宇和島市都市計画マスタープラン

- 都市づくりの基本理念は、「地域の特性とコミュニティ力を活かした安全で安心にずっと暮らせる都市づくり」としています。
- 都市づくりの基本的方向は、「四国西南地域の中核を担う都市機能が集積したコンパクト・プラス・ネットワークの都市づくり」とし、「すべての市民が徒歩で生活できるように、
- 中心拠点や地域拠点と集落を結ぶ鉄道、バス等の公共交通の再編や見直しを進めることで、都市機能への利便性を高めるコンパクト・プラス・ネットワークの都市づくりを進める」としています。
- 将来都市構造では、「拠点間の連携を支える公共交通網の充実」を図る連携軸として位置づけられています。(次頁の図参照)

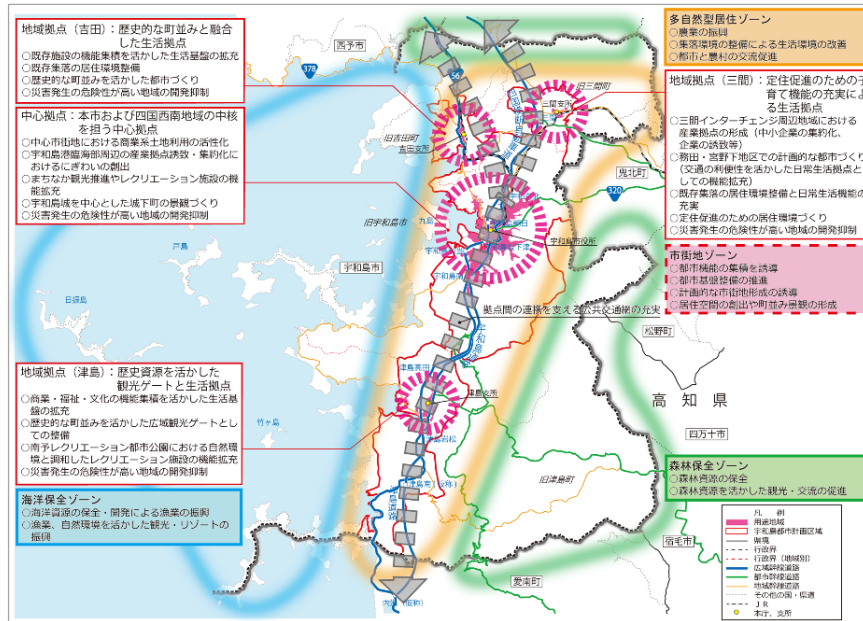


図 13 将来都市構造

6.4. 宇和島市立地適正化計画

- 計画では、中心拠点や生活拠点などを公共交通で結ぶコンパクトシティ・プラス・ネットワークの都市構造を構築し、市街地の人口密度を保ちつつ、安全で安心でき、健康で快適に暮らせる持続可能な都市づくりを進めるとしています。
- 公共交通については、「誰もが公共交通を利用することで、歩いて生活できるように、中心拠点・地域拠点と集落などを結ぶ鉄道・バスなどの公共交通の再編や見直し及び歩道整備などにより、効率的で持続可能な公共交通システムの維持・確保や歩行空間の整備を進める」としています。
- 目指すべき将来都市構造は、拠点及び公共交通連携軸を設定し、これを基本として拠点連携型の都市の実現を図るとしています。(下図参照)

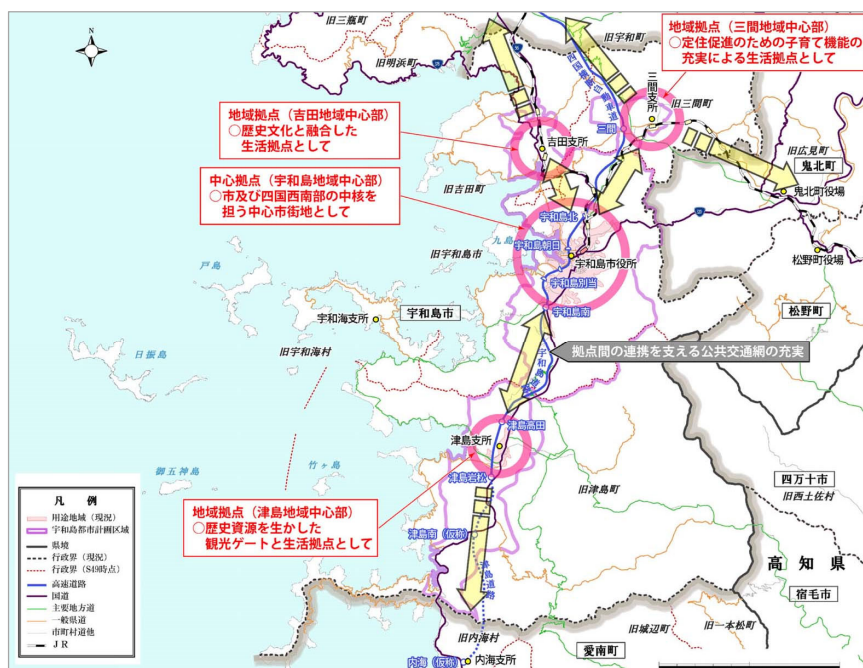


図 14 拠点及び公共交通連携軸の図

※11：巻末の用語解説参照

6.5. 宇和島市 DX 推進計画

- 計画では、行政デジタル化などを推進するとともに、総合計画で定めるまちづくりの基本的方向に沿って、市の施策の展開を強力に後押しするものとして策定しています。
- 計画では、DXを推進することで、まちの魅力を高め「選ばれるまち」を目指しており、地域社会の「①生活・支援 ～誰もが利便性を実感できる暮らし～」の中で、公共交通は位置づけられています。
- 公共交通の取組として「市民生活に欠かせない身近な交通手段である公共交通について、デジタル技術を有効に活用し、より利用しやすい環境の整備を図ります」としています。

6.6. 愛媛県地域公共交通網形成計画

- 計画の目標として、「1. まちづくりと連携した軸と拠点の設定による地域住民の円滑な移動を支える公共交通ネットワークの構築」、「2. 広域交通と地域間・地域内交通の連絡性の向上による切れ目ない県内交通ネットワークの構築」、「3. 国内・海外からの観光ニーズに対応した公共交通利用環境の整備」、「4. 持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた運行水準の適正化」、「5. 新たな公共交通利用者の確保に向けた利用促進策の実施」が示されています。

6.7. 愛媛県南予地域公共交通利便増進実施計画

- 計画では、持続可能な交通ネットワークの再構築を図るため、運行の重複する区間の整理、経路短縮などによる収支改善と運行持続性の向上を達成することを目的としています。
- 宇和島市を含む再編は、2019～2020年に実施済みです。

7. 宇和島市の公共交通の現状

7.1. 現状の交通体系

- 宇和島市中心部を起点とし、放射状に路線ネットワークが構成されています。
- 吉田方面（至八幡浜・松山）は四国旅客鉄道の JR 予讃線と宇和島自動車の松山線が、三間方面（至鬼北・松野）は四国旅客鉄道の JR 予土線と宇和島自動車の鬼北線が、津島方面（至城辺・宿毛）には宇和島自動車の城辺・宿毛線がそれぞれ幹線としての役割を担っています。
- 三浦半島方面は宇和島自動車の三浦半島線と、盛運汽船の航路が運行（運航）しています。

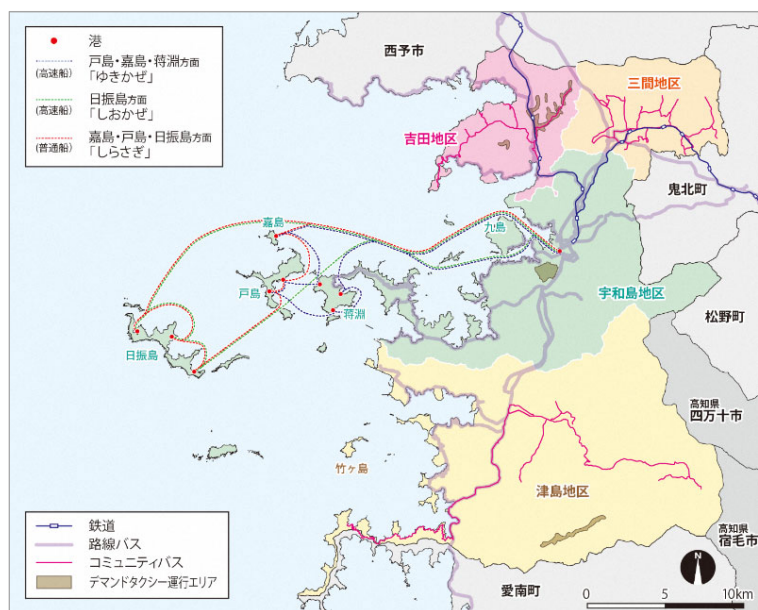


図 15 宇和島市の公共交通体系

7.2. 公共交通の圏域と人口分布

- 人口が集積している地域は、概ね公共交通を利用しやすい状況にありますが、周辺部を中心に一部、駅やバス停から離れた地域もあります。

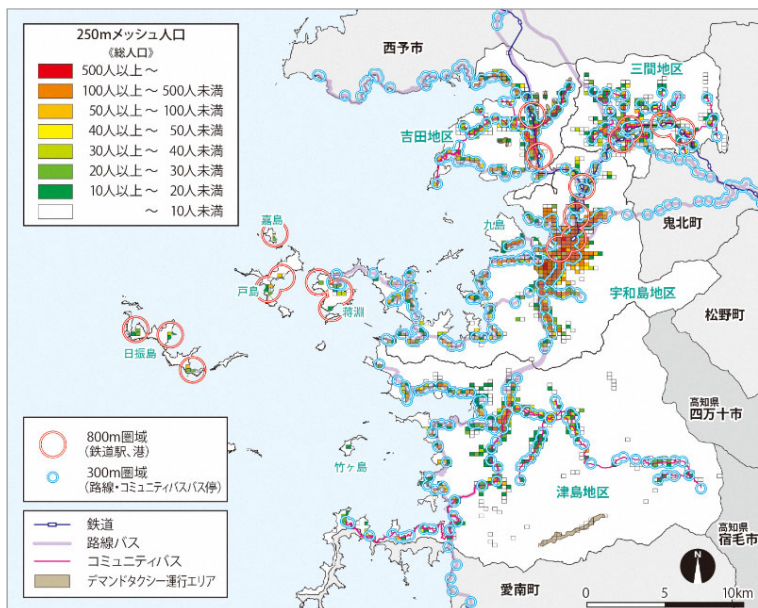


図 16 駅や港、バス停からの圏域と人口分布

7.3. 交通結節点の概況

- 鉄道駅や港、バスセンターなどの主要なバス停が交通結節点として機能しています。
- これらの交通結節点では公共交通同士の乗継が想定されており、待合環境が整備されていますが、乗継に関する情報提供が十分でない箇所もあります。

表 8 交通結節点

地区	交通結節点	待合環境の状況（一例）
宇和島地区	宇和島バスセンター JR 宇和島駅 恵美須町 きさいや広場／宇和島新内港駅	
吉田地区	JR 伊予吉田駅 吉田出張所 吉田支所 吉田病院／北小路	
三間地区	JR 伊予宮野下駅／A コープみま JR 務田駅 道の駅みま 三間支所	
津島地区	岩松出張所 津島病院	

7.4. 陸上交通の概況

(1) 鉄道

a) 運行状況

- 四国旅客鉄道により、JR 予讃線が宇和島駅から松山駅方面に、JR 予土線が北宇和島駅から若井駅（高知県）方面に運行されています。
- JR 予讃線は平日 1 日 27.0 往復（うち特急 16.5 往復）が運行されており、主に松山・大洲・八幡浜方面への輸送を担っています。
- JR 予土線（愛称：しまんとグリーンライン）は平日 1 日 12.0 往復（普通列車のみ）が運行されており、主に鬼北・松野・四万十方面への輸送を担っています。

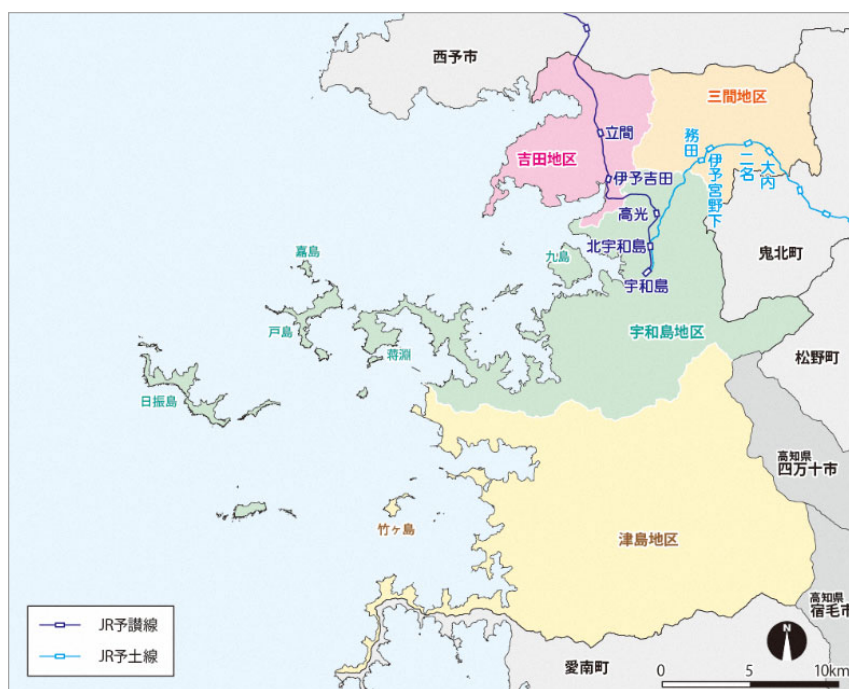
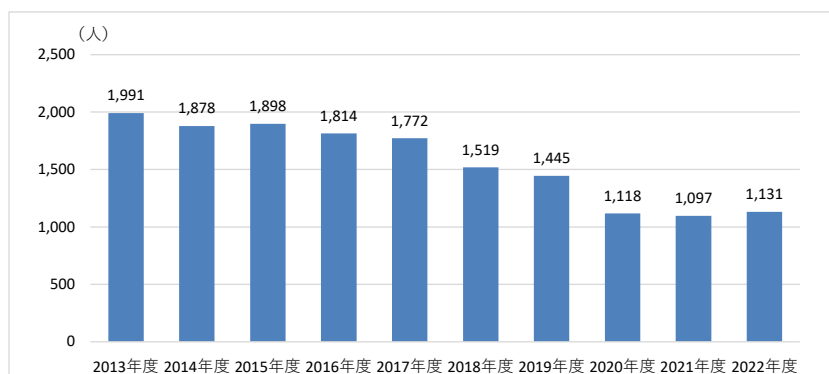


図 17 宇和島市の鉄道のネットワーク

b) 利用状況

- 市内における鉄道の乗車人員は、減少傾向にあります。



出典：四国旅客鉄道資料

図 18 宇和島市内の全鉄道の 1 日あたり乗車人員合計の推移

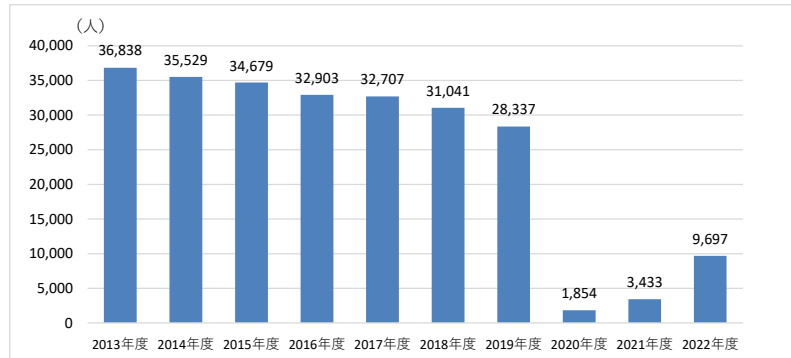
(2) 高速バス

a) 運行状況

- 宇和島自動車により、神戸・大阪方面に1日2往復運行されており、長距離輸送を担っています。

b) 利用状況

- 高速バスの利用者数は、減少傾向にあり、2020年度以降は急減しています。
- これは、コロナ禍の影響により運休月が多くなったためと考えられます。



出典：宇和島自動車資料

図 19 高速バスの年間利用者数の推移

(3) 路線バス

a) 運行状況

- 宇和島自動車により、市内外の各方面に路線バスが運行されています。
- 特に松山方面には、宇和島道路などを經由して松山・道後に至る特急便・急行便が、平日1日12往復運行（2023年4月1日改正）されています。

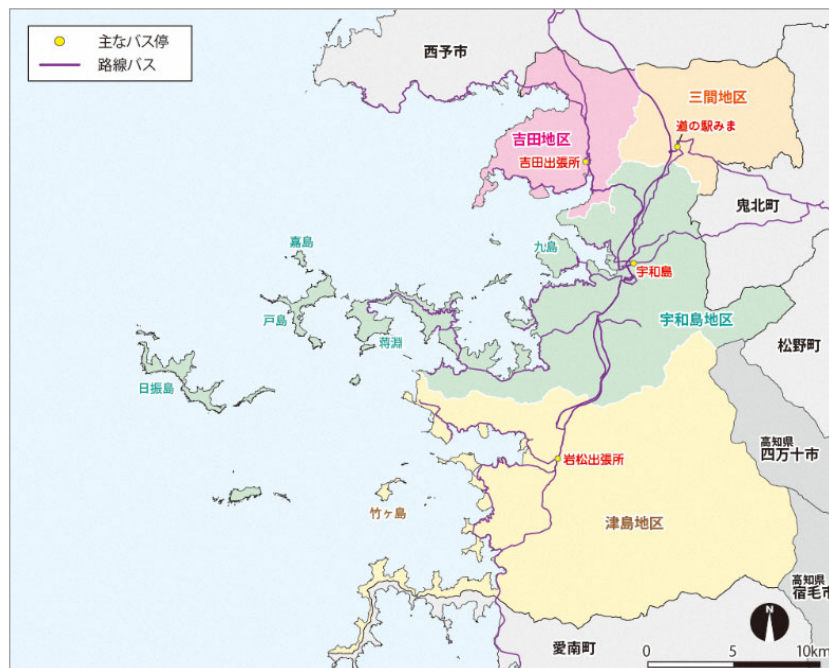
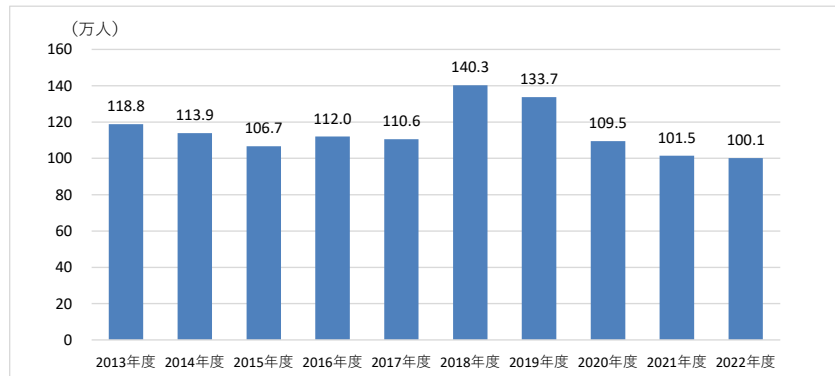


図 20 宇和島市に係る路線バスのネットワーク

b) 利用状況

- 路線バスの利用者数は、2013年度から2022年度まで減少傾向が続いています。
- なお、2018年度と2019年度の増加については、2018年7月の西日本豪雨災害による鉄道の運休の影響で、7～9月で松山線の利用者数が一時的に増加したことなどが考えられます。



注：松山～宇和島～城辺系統は除く
注：各年度の集計期間は前年10月1日～当年9月30日

出典：宇和島自動車資料

図 21 宇和島市における路線バス利用者数の推移

c) 収益状況

- 市内を運行する全ての系統で、欠損（赤字）が生じています。
- 欠損が生じている系統には、国や県、宇和島市を含む関係市町による補助金が交付されています。

d) 広域バス路線の見直し

- 公共交通ネットワークを持続可能なものとするため、愛媛県において、主に広域バス路線の再編として、運行の重複する区間の整理、経路短縮（収支改善）などを行っており、宇和島市に関わる再編は、2019～2020年に実施済みです。

(4) コミュニティバス、デマンドタクシー

a) 運行状況

- 吉田地区、三間地区、津島地区で市がコミュニティバス及びデマンドタクシーを運行しています。
- 合併前の制度を引き継いで運行しているため、サービス内容は各地区で異なります。



図 22 コミュニティバス、デマンドタクシーの路線のネットワーク

表 9 コミュニティバス、デマンドタクシーの概要

地区	路線・サービス概要		
宇和島	宇和島地区デマンドタクシー		
	サービス提供主体	宇和島市	運行委託先 丸之内そうご
	運 行 日	月～土（日祝、年末年始運休）	
	日 運 行 便 数	別当線 8.5 往復	
	運 賃	大人 300 円、小人 150 円 ・ 障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方と、その介護人は半額 ・ 未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料	
	備 考	居住エリア、まちなかエリアともに停留所を設定したミーティングポイント（※12）方式のデマンド便（要事前登録）	
吉 田	吉田地区コミュニティバス、デマンドタクシー		
	サービス提供主体	宇和島市	運行委託先 宇和島ハイヤー
	運 行 日	月～金（土日祝、年末年始運休）	
	日 運 行 便 数	大良線 6.0 往復／筋線 4.0 往復／大河内線 5.0 往復（うち 2.5 往復はデマンド便）／川平線 1.0 往復（川平線は全てデマンド便）	
	運 賃	大人 200 円、小人 100 円 ・ 障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方と、その介護人は半額 ・ 未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料	
	備 考	一部、停留所を設定したミーティングポイント方式のデマンド便あり（要事前登録）	
三 間	三間地区コミュニティバス		
	サービス提供主体	宇和島市	運行委託先 三間タクシー
	運 行 日	月～金（土日祝、年末年始運休）	
	日 運 行 便 数	川之内線 3 便／川之内線（三間小学校便） 1.0 往復（小学校のある日だけ運行）／大藤線 3 便／音地線 4 便／音地線（二名小学校便） 1.0 往復（小学校のある日だけ運行）／増田線 3 便	
	運 賃	大人 200 円、小人 100 円 ・ 障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方と、その介護人は半額 ・ 未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料	
	備 考	-	
津 島	津島地区コミュニティバス、デマンドタクシー		
	サービス提供主体	宇和島市（直営運行）	運行委託先 -
	運 行 日	月～金（土日祝、年末年始運休）	
	日 運 行 便 数	谷郷線 5.0 往復／須下線 3.0 往復／本依線 4.0 往復／野井・五郎丸線 1.0 往復／上槇線 2.0 往復（上槇線は全てデマンド便）	
	運 賃	大人 200 円、小人 100 円 ・ 障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方と、その介護人は半額 ・ 未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料	
	備 考	上槇線は前日までに利用予約が必要	

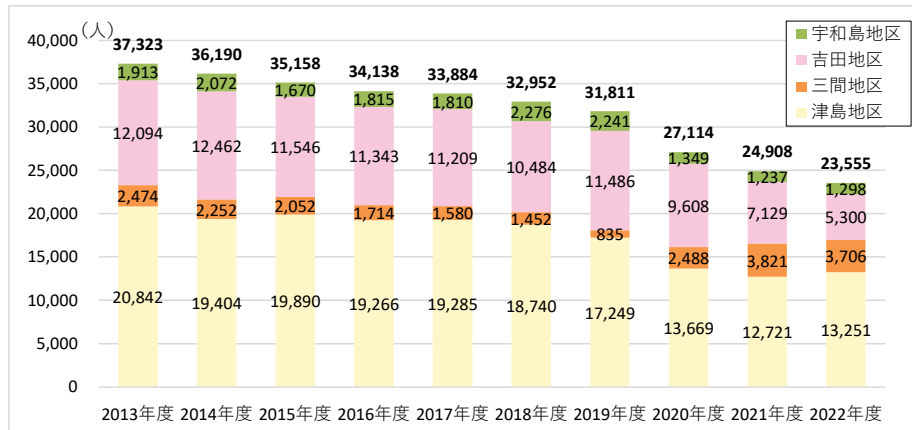
注：運行委託先は 2023 年度時点

出典：宇和島市 HP

※12：巻末の用語解説参照

b) 利用状況

- コミュニティバス、デマンドタクシーの全体利用者数は、減少傾向にあります。

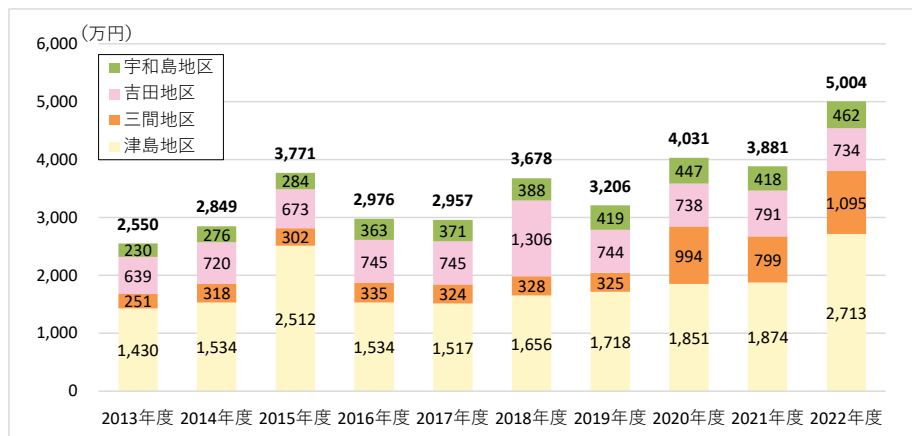


出典：宇和島市資料

図 23 コミュニティバス、デマンドタクシーの利用者数の推移

c) 収益状況

- コミュニティバス、デマンドタクシーの運行に係る全体の費用は、増加傾向にあります。



出典：宇和島市資料

図 24 コミュニティバス、デマンドタクシーの運行経費の推移

7.5. 海上交通の概況

(1) 航路

a) 運行状況

- 盛運汽船により、宇和島新内港と日振島、戸島、嘉島、三浦半島の蔦淵、遊子を結ぶ航路が運航されており、離島の市民にとっては貴重な交通手段となっています。
- 三浦半島では、路線バスも運行されており、交通手段の選択が可能な状況です。
- 高速船は嘉島・戸島・蔦淵・遊子線で1日3.0往復、日振島・遊子線で1日3.0往復、普通船は嘉島・戸島・日振島線で1日1.0往復（土日祝運休）、それぞれ運航しています。

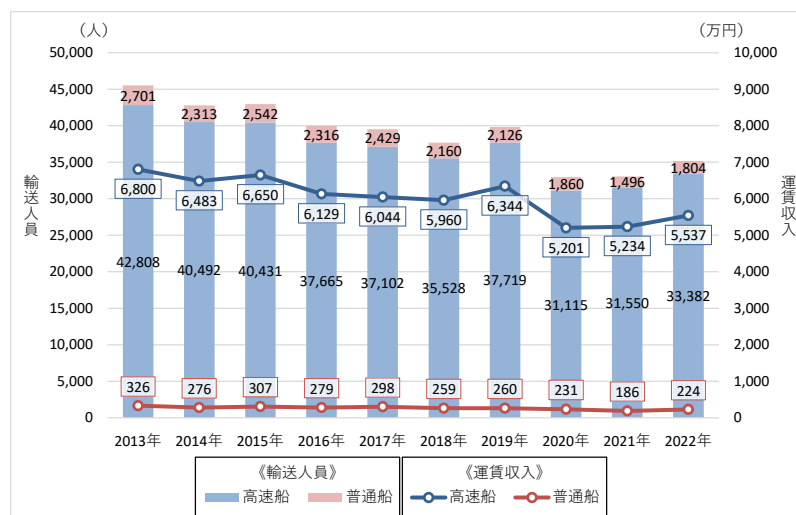


出典：盛運汽船 HP より作成

図 26 宇和島市に係る航路

b) 利用状況

- 輸送人員、運賃収入ともに減少傾向にあります。



出典：盛運汽船資料

図 27 宇和島市に係る航路の輸送人員と運賃収入の推移

8. 公共交通に関するニーズ調査

8.1. 市民ニーズ等の把握

市民の日常生活における移動や公共交通の利用実態及びニーズなどを把握するため、市全域を宇和島、吉田、三間、津島の4地区に分け、それぞれの地区を対象にアンケート調査等を実施しました。

8.1.1. 調査概要

市民ニーズの調査概要を以下に示します。

表 10 調査概要

調査対象	宇和島市に住民票がある市民 ・旧4地区内で概ね同数となるよう、全市で約4,000世帯を無作為抽出
調査期間	2023年11月23日(木)～2023年12月8日(金)
調査方法	郵送による調査票の配布、回収は郵送又はWeb回答 郵送した調査票1通に4人まで記入可能
回収結果	配布：4,000通／回収：1,322通(回収率33.1%) ・宇和島地区 配布：1,000通／回収：377通(回収率37.7%) ・吉田地区 配布：1,000通／回収：334通(回収率33.4%) ・三間地区 配布：1,000通／回収：295通(回収率29.5%) ・津島地区 配布：1,000通／回収：292通(回収率29.2%)
集計数	2,373票(郵送：2,040票、Web：333票)

8.1.2. 調査結果概要

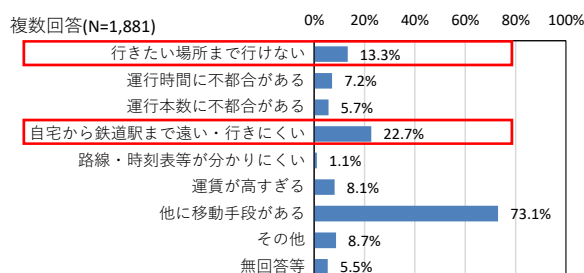
公共交通を利用しない理由について、「行きたい場所まで行けない」や「運行時間に不都合がある」など、利用者の移動ニーズにあっていない意見がありました。

一方で、公共交通を将来利用したい意向は、全体で約6割となっており、宇和島市にとって公共交通は無くならないものであり、利用者ニーズに合わせた内容と運行経費のバランスを見て維持継続していく必要があると考えられます。

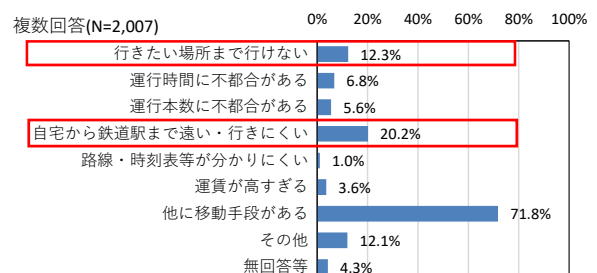
(1) 各公共交通を利用しない理由

公共交通を利用しない理由は、「他に移動手段があるから」を除くと、JR予讃線とJR予土線は「自宅から鉄道駅までが遠い・行きにくい」と「行きたい場所まで行けない」の意見が多く、路線バスやコミュニティバスなどは「行きたい場所まで行けない」の意見が多かった。船舶は、「船舶を利用する目的がない」を除くと、「他に移動手段があるから」の意見が多かった。

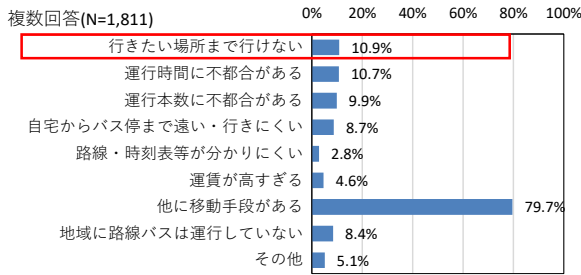
1) JR 予讃線



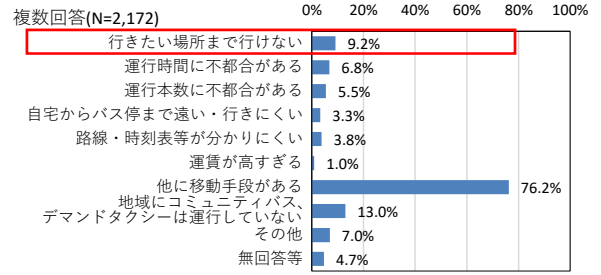
2) JR 予土線



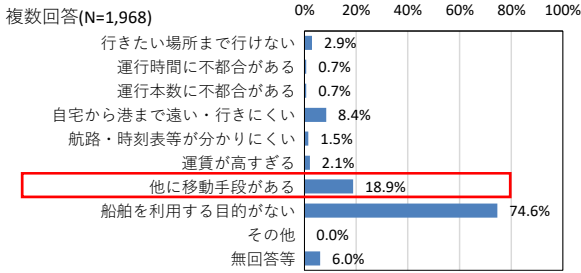
3) 路線バス



4) コミュニティバス、デマンドタクシー



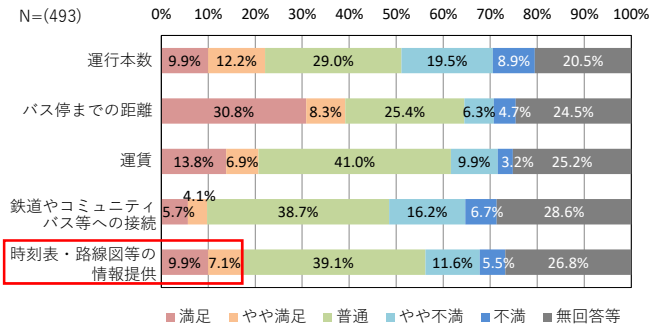
5) 船舶



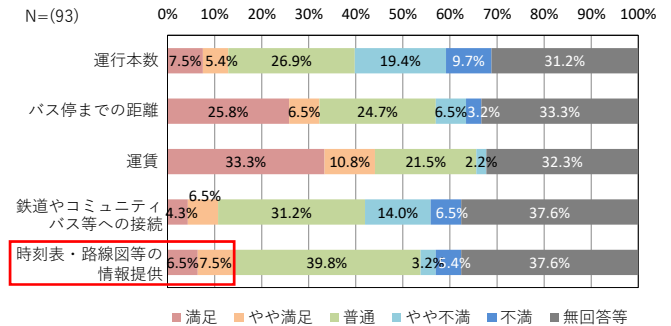
(2) 情報提供に対する満足度

時刻表・路線図等の情報提供に対する満足度（「満足」「やや満足」と回答した人の割合）は、路線バスで17.0%、コミュニティバス、デマンドタクシーで14.0%となっています。

1) 路線バス

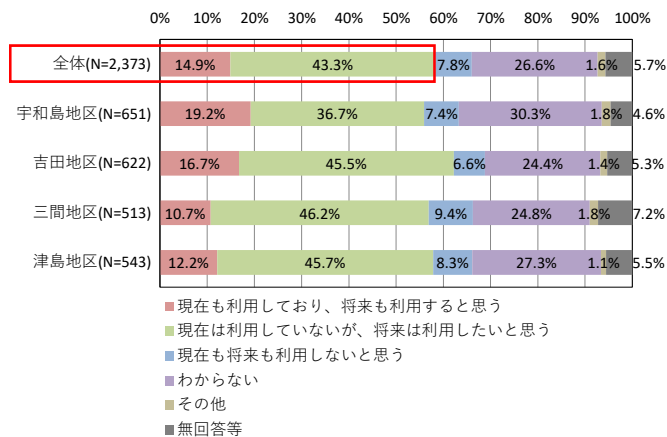


2) コミュニティバス、デマンドタクシー



(3) 今後の公共交通

公共交通を将来利用したい意向は、全体で58.2%（約6割）となっています。このことから、宇和島市にとって公共交通は無くならないものであり、維持継続していく必要があります。



8.2. 関係者ヒアリング調査

宇和島市の公共交通の運行に係る交通事業者や、主な利用者である教育関係者、行政関係者などへのヒアリング調査を実施し、その結果を整理しました。

8.2.1. 調査概要

調査は41者に書面ヒアリング（2023年11月29日～12月12日）を実施し、その内容を補足するため交通事業者3者に対面ヒアリング（2023年12月20日、12月26日）を実施しました。

表 11 調査概要

調査対象	配布・回収結果
交通事業者	配布：7票／回収：7票（回収率100%） ・ 四国旅客鉄道、宇和島自動車、丸之内そうご、宇和島ハイヤー、三間タクシー、南予ハイヤー協議会、盛運汽船
教育関係者	配布：25票／回収：19票（回収率76%） ・ 市内の小学校14校、中学校6校、中等教育学校1校、高等学校4校（分校含む）
行政関係者・関係団体	配布：9票／回収9票（回収率100%） ・ 宇和島市（高齢者福祉課、福祉課、商工観光課、都市整備課、建設課、教育総務課）、 ・ 宇和島市社会福祉協議会、宇和島市観光物産協会 ・ 愛媛県

8.2.2. 調査結果概要

ヒアリング調査の結果概要を以下に示します。

交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● 南予地域の人口減少・高齢化が進んでおり、公共交通全般で利用者が少ない状況であり、持続的なサービスの提供が課題となっている。 ● 労働人口の減少や他企業との競争、2024年問題など、全ての公共交通で人材不足の状況であり、従来の稼働体制を維持することが難しい状況である。 ● 災害時の対応について、鉄道と並行する路線バス事業者で協定を結び、代替輸送の対応がスムーズに行えるように改善された。 ● キャッシュレス決済は、鉄道やタクシーでは整備済みであるが、バスでは一部で実施している状況であり、市域全体のキャッシュレス化には時間を要する。 ● 公共交通インフラの各社との連携により、限りある輸送資源を総動員して、交通結節点の利便性をあげ、利用者の満足度があがるような取組を進めることが重要と考えている。
教育関係者	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道について、部活動終了時刻や土日登校時に都合のよい便がない。利用者アンケート等で、夕方～夜の便の時刻を変更してほしい。 ● 児童下校時のバス便が少ない。曜日や行事によっては、座れない場合や人数が多く乗り切れないこともある。分散下校を行っているが小学生の場合は難しい場合もあるため、実態にあったダイヤ設定や必要な場合には臨時便を出してほしい。

<p>教育関係者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童が路線バスを利用しているが、乗り方が分からず戸惑い、乗れなかったことがある。声を掛けてほしい。 ● バス停が学校から遠く待合所がないため、現在は学校前の狭い歩道で手をあげて停まってもらっている。現在、教職員が同行し見守りをしているが、教職員の減少により同行が難しくなっている。 ● 津島地区は次年度より分校に入学できなくなるため、遠い高校にバス通学することになる。市内の他地区より通学の交通費負担が大きくなるため、定期的割引補助などを検討してほしい。
<p>行政関係者 ・関係団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の公共交通が廃止されると、近隣との互助関係も希薄化してきているなか、高齢者や子供の移動手段がなくなる。過疎化の進展の大きい周辺部や村落部での社会的弱者に対する影響が大きい。 ● 通院や買い物の交通手段が少ない。バスはあるが便数が少なく、バス停まで行くのが大変な高齢者が多いため利用者が少ない。 ● 気軽な外出が出来ないことで、通院や買い物の回数が減ることで介護度が上がり、自立できない高齢者が増えることが懸念される。 ● 路線バスやコミュニティバスについて、小学校低学年から高学年の各下校時間に合った便が不足している地域があり、下校時間後も学校に待機する児童が見られる。現在、一部の学校では公費負担による民間タクシーを利用し、児童の下校をサポートしている。 ● 市内を運行しているバスは行きの手があるが、帰りの便の本数が少ない。 ● 各観光スポットへのバスの乗継や、バスの系統番号・色などを工夫して分かりやすくしてほしい。特にコミュニティバスは、分かりにくく、観光客は利用しにくい。 ● インバウンド（訪日客）は、JRのジャパン・レール・パス（※13）等を利用している外国人が多い。宇和島駅以南はバス利用となるため、鉄道とバスのパック等ができれば利用推進につながると思われる。 ● 観光施設を周遊するループバスや市内1日タクシー乗り放題チケット等、検討したらどうかと思う。

※13：巻末の用語解説参照

■ 用語解説

1	デマンド便	総じて「デマンド型交通」と言い、本計画では、利用者からの予約に応じて乗合で運行する公共交通を指す。（予約が無い経路や時間帯は運行しない。）反対に、路線バスなどの決まった時間・経路を運行するものは、「定時定路線型」と言う。
2	デマンドタクシー	
3	生活圏	人が主に行動する範囲・地域を指し、日常生活とその延長（遠出しない余暇や娯楽など）を営む空間。
4	D X	D Xは「Digital Transformation（デジタル・トランスフォーメーション）」（デジタル変革）の略称。市では、地域社会や行政が直面する課題に対応するため、デジタル技術の有効な活用を図り、新たな価値を生み出すことで未来を切り拓くことを目指す。
5	コンパクト・プラス・ネットワーク	行政や医療・福祉、商業など、生活に必要な各種のサービスを維持し、効率的に提供していくために、各種機能を一定のエリアに集約化（コンパクト化）するとともに、各地域を公共交通などで結ぶ（ネットワーク化）することにより、各種の都市機能に応じた圏域人口を確保していく取組。住宅及び医療・福祉・商業、その他の居住に関連する施設の誘導と、それと連携した地域公共交通ネットワークの再編を行うことで達成を目指す。
6	交通結節点	複数の交通手段（あるいは同一の交通手段）を相互に連絡する乗換・乗継施設のこと。
7	交通モード	ある地点間を結ぶ交通手段のこと。
8	自家用有償旅客運送事業	地域住民の生活交通の確保が、一般旅客自動車運送事業（バス・タクシー）では困難な公共交通空白地域（過疎地域や一部の都市地域）において、NPO 法人や社会福祉法人などが提供する自家用車による移動サービスのこと。
9	モビリティ	移動そのものや移動手段・方法のこと。
10	ダウンサイジング	公共交通のダウンサイジングは地域の実情に応じて行われ、道路環境や利用者の減少などから車両の小型化が図られること。
11	ブルーゾーン	健康で長寿な人々が数多く居住する地域の総称。
12	ミーティングポイント方式	デマンド型交通のあらかじめ決められた乗降場所（乗降地点、停留所とも呼称）でのみ乗り降りできる方式のこと。
13	ジャパン・レール・パス	日本国以外からの訪日外国人旅行を対象に、JR グループが発行する JR 各社の鉄道・路線バスが乗り降り自由に利用できる特別企画乗車券。別途、JR 四国と四国内公共交通機関数社との連携による訪日外国人向けのパス（ALL SHIKOKU Rail Pass）もある。



宇和島市地域公共交通計画

2024年3月

発行／宇和島市 総務企画部 企画課
〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町1番地
TEL 0895-24-1111(代表)